



Drum Pro DD-55

Digital Percussion

取扱説明書



100 SONGS



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願ひいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	~しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの(PA-5C または PA-5D)を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

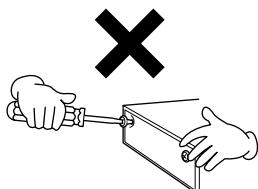
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

感電や火災、または故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常においや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

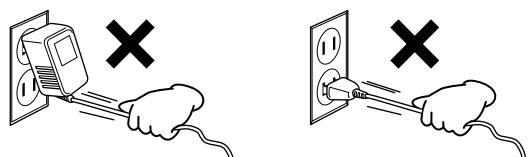
⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずには、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

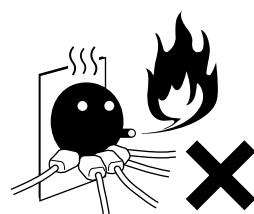
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



乾電池



乾電池はすべて + / - の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。

必ず実行



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。



乾電池を分解したり、火の中に入れたりしない。乾電池の中のものが目に入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。

禁止



使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。

禁止



長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

禁止



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどのおそれがあります。

禁止

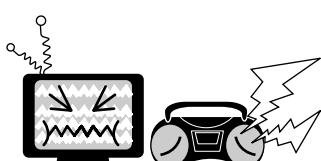
設置



直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

禁止



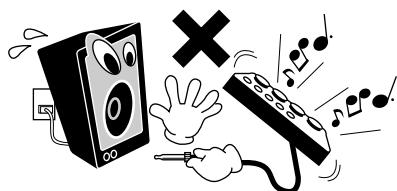
本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

接続



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

使用時の注意



本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。



本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



データの保存



必ず実行

乾電池が入っている場合、または電源アダプターが接続されている場合は、電源を切っても内部のデータは保持されません。乾電池もアダプターもない状態では、このデータは消えてしまいます。大切なデータは、ヤマハ MIDI データファイル MDF3 などの外部メディアに保存してください。乾電池を交換する場合は、データを消してしまわないために、電源アダプターを接続した状態で行ってください。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「STANDBY」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

* この取扱説明書に記載されているイラストはすべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

ごあいさつ

このたびはヤマハデジタルパーカッションDD-55をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

DD-55は、本格的なドラムセットのスタイルで、手軽にドラム演奏を楽しめるように開発した機器です。

ご使用にあたっては、この取扱説明書の活用をお願い申しあげるとともに、ご一読いただいたあとも不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますよう、お願ひいたします。

目次

演奏の準備	7	録音してみよう	22
電源の準備	7	録音	22
各部の名称	8	再生	22
デモ曲を聞いてみよう	10	MIDI機器を接続して演奏しましょう	23
全体の音量調整	10	MIDIって何?	23
ソングの音量調整	10	MIDIでできること	25
パッド/ペダルを鳴らしてみよう	11	パーソナルコンピューターと接続する	26
パッドの名前	11	MIDI/ユーティリティモードの入り方/抜け方	27
スティックでたたくか、手でたたくかを設定	12	クロックの設定	27
ドラムキットの選びかた	12	ローカルオン/オフ設定	28
パッドやペダルの音色変更		MIDI送信チャンネルの設定	29
([U:カスタムキット])	13	MIDI送信ノートの設定	30
リバーブ(残響効果)のオン/オフ	14	DD-55とコンピューター間でソングデータを送受信する	31
パッドの感度を調整する	15		
各パッドの音量調整	16		
クリック音のオン/オフ	16		
ソングを聞いてみよう	17	卷末資料	33
ソングを選んで聞く	17	初期化(イニシャライズ)の方法	33
タップスタート	18	故障かな?と思ったら	34
オートキットセレクトのオン/オフ	18	ドラム音色リスト	35
テンポの設定	19	ソングリスト	37
ソングに合わせて演奏してみよう	20	ドラムキットリスト	38
トラックのオン/オフ	20	ドラムマップ	40
ブレイク(BREAK)	20	GM音色リスト	42
A-Bリピート	21	MIDIインプリメンテーションチャート	43
		仕様	46

- Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

・「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。



音楽を楽しむエチケット

音楽を楽しむエチケット楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずここに迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドフォンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

同梱品について
同梱品を確認してください。

- ・ドラムスティック × 2
- ・ペダル 1, 2
- ・取扱説明書
- ・保証書

演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

電源の準備

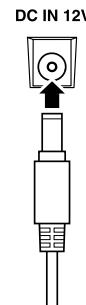
DD-55 は電源として別売の電源アダプターか乾電池をご使用になれます。基本的に電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイ側)ことを確認してください。



- 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず別売のアダプター PA-5C または PA-5D をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

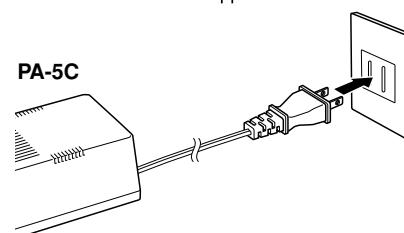


- ② アダプターのDC プラグをサイドパネルのDC IN 12V(電源アダプター接続)端子にさし込みます。

- ③ アダプターのAC プラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



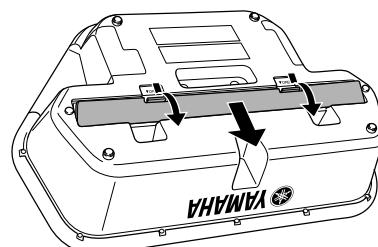
- 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。



アダプターを抜くときは、本体の電源スイッチを切り、アダプターのAC プラグ、DC プラグの順で抜いてください。

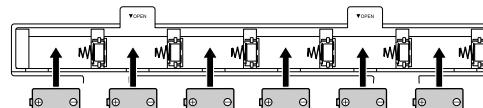
乾電池を使うときは

- ① DD-55 を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。



- ② 市販の乾電池(単2乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。

乾電池はアルカリ電池の使用をおすすめします。



- ③ 電池ブタを閉めます。



- 乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことについて注意して乾電池を交換してください。



- 乾電池はすべて + / - の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。



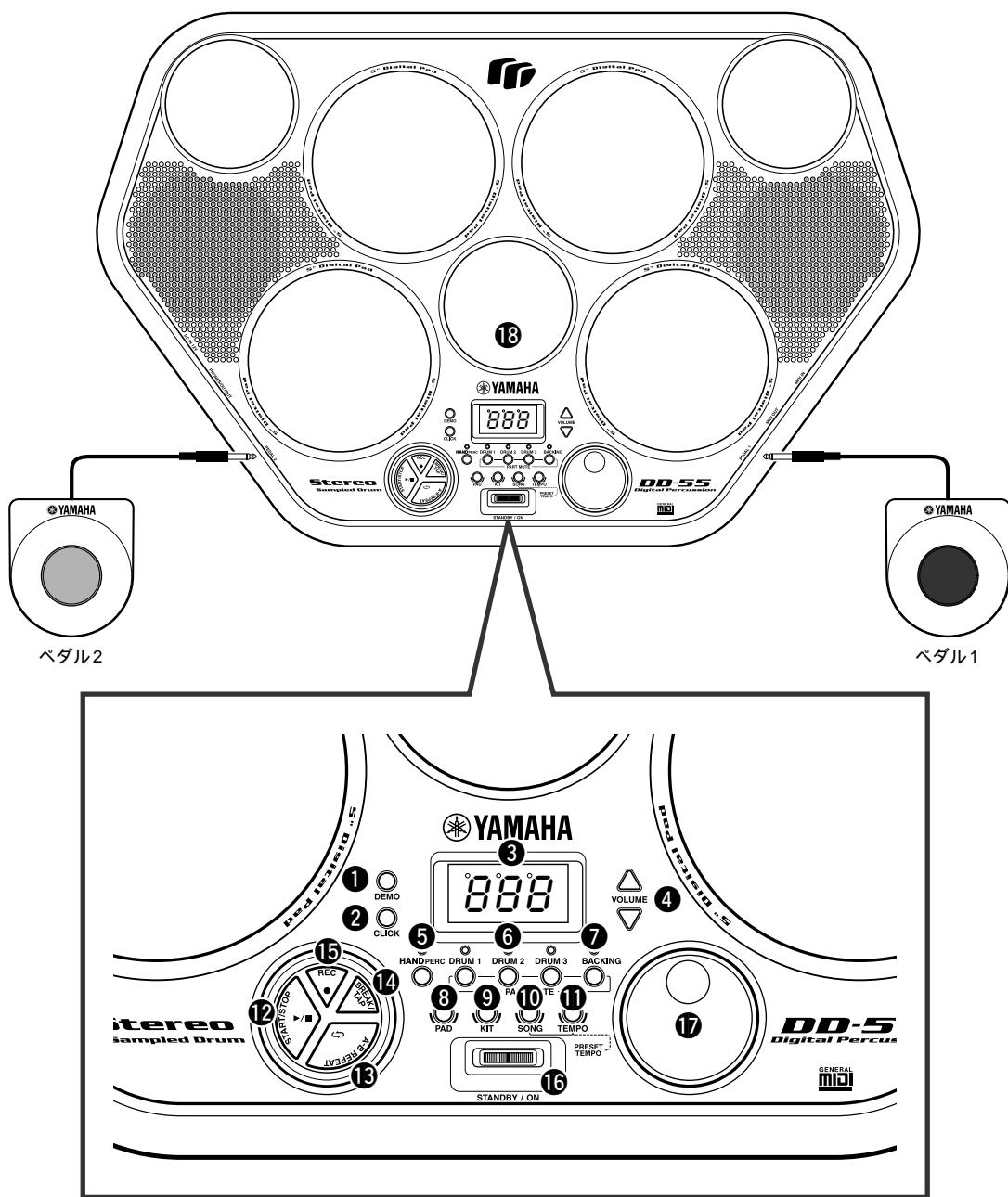
- 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なるもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。



- 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

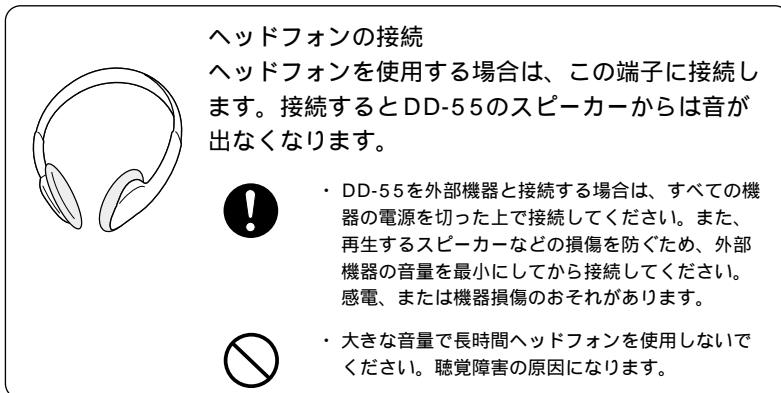
各部の名称

フロントパネル

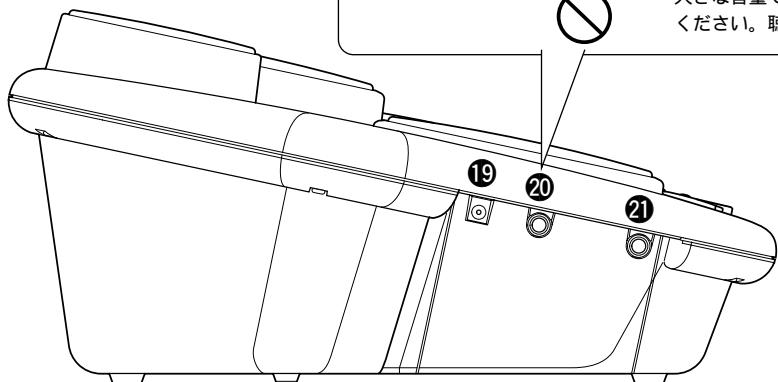


フロントパネル

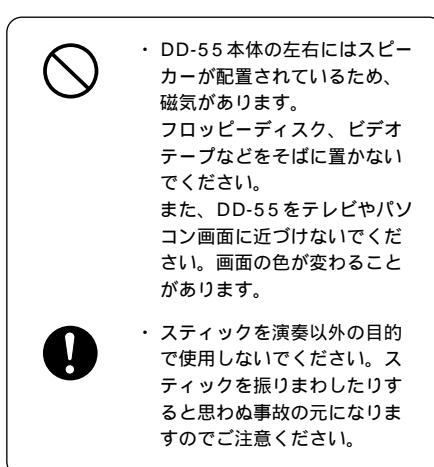
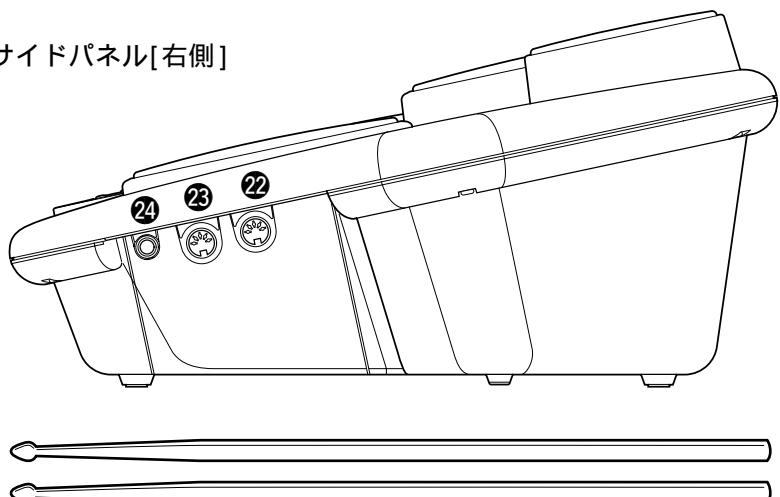
- | | | | |
|----------------------------|------------|----------------------------|------------|
| ① DEMO(デモ)ボタン | 10, 27 | ⑪ TEMPO(テンポ)ボタン | 19 |
| ② CLICK(クリック)ボタン | 16 | ⑫ START/STOP(スタート/ストップ)ボタン | 10, 17, 27 |
| ③ ディスプレイ | 12 | ⑬ A-B REPEAT(A-Bリピート)ボタン | 21 |
| ④ VOLUME(ボリューム)[↑][↓]ボタン | 10 | ⑭ BREAK/TAP(ブレイク/タップ)ボタン | 18, 20 |
| ⑤ HAND PERC(ハンドパーカッション)ボタン | 12 | ⑮ REC(録音)ボタン | 22 |
| ⑥ DRUM 1-3(ドラム1-3)ボタン | 20 | ⑯ STANDBY/ON(電源)スイッチ | 10, 33 |
| ⑦ BACKING(バックティング)ボタン | 20 | ⑰ ダイアル | 12 |
| ⑧ PAD(パッド)ボタン | 13, 16, 29 | ⑱ ドラムパッド×7 | 11 |
| ⑨ KIT(キット)ボタン | 12, 30 | | |
| ⑩ SONG(ソング)ボタン | 10, 17, 18 | | |



サイドパネル[左側]



サイドパネル[右側]



サイドパネル[左側]

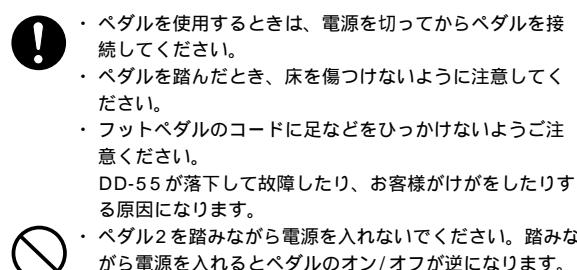
⑯ DC IN 12V(電源アダプター接続)端子	7
⑯ PHONES/OUTPUT (ヘッドフォン/外部出力)端子	9
⑯ PEDAL 2(ペダル2)端子	9

サイドパネル[右側]

⑯ MIDI IN(MIDI入力)端子	24
⑯ MIDI OUT(MIDI出力)端子	24
⑯ PEDAL1(ペダル1)端子	9

ペダル1/2の接続

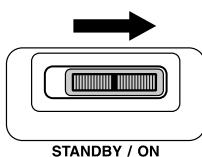
付属のペダル1を⑯にペダル2を⑯に接続して、ドラムセットのハイハットペダルやキック(バスドラム)ペダルのように、演奏することができます。



デモ曲を聞いてみよう

DD-55のデモ曲を聞いてみましょう。

DD-55で鳴らせるいろいろな音を聞くことができます。



1 電源を入れます。

[STANDBY/ON](電源)スイッチをON側に切り替えて、電源を入れます。

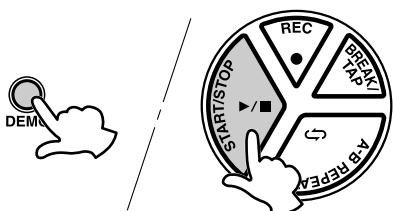


- ・スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。
DD-55を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。



2 デモ曲をスタートします。

[DEMO]ボタンを押すと、デモ曲の演奏がスタートします。



3 デモ曲をストップします。

[DEMO]ボタン、または[START/STOP]ボタンを押すと、デモ曲の演奏がストップします。



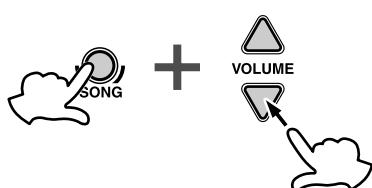
全体の音量調整(マスター音量)

VOLUME []ボタンまたはVOLUME []ボタンを押して、DD-55全体の音量レベル(10段階:L0 ~ L9)を調整します。

VOLUME []ボタンを押すと音量レベルが1つずつ増加、VOLUME []ボタンを押すと1つずつ減少します。押し続けると連続で増減します。

L0	L5	L9
小	音量レベル	大

「L0」に設定すると、何も鳴りません。



ソングの音量調整(ソング音量)

[SONG]ボタンを押しながら、VOLUME []ボタンまたはVOLUME []ボタンを押して、ソング(デモ曲、ソング 17ページ参照)の音量(10段階:L0 ~ L9)を調整します。

パッド演奏に対するソングの音量バランスを調整します。

VOLUME []ボタンを押すと音量レベルが1つずつ増加、VOLUME []ボタンを押すと1つずつ減少します。押し続けると連続で増減します。

L0	L5	L9
小	音量レベル	大

「L0」に設定すると、ソングは鳴りません。



- ・[DEMO]ボタンを押してデモが鳴ってるとき、ソングの音量は調整できません。

パッド/ペダルを鳴らしてみよう

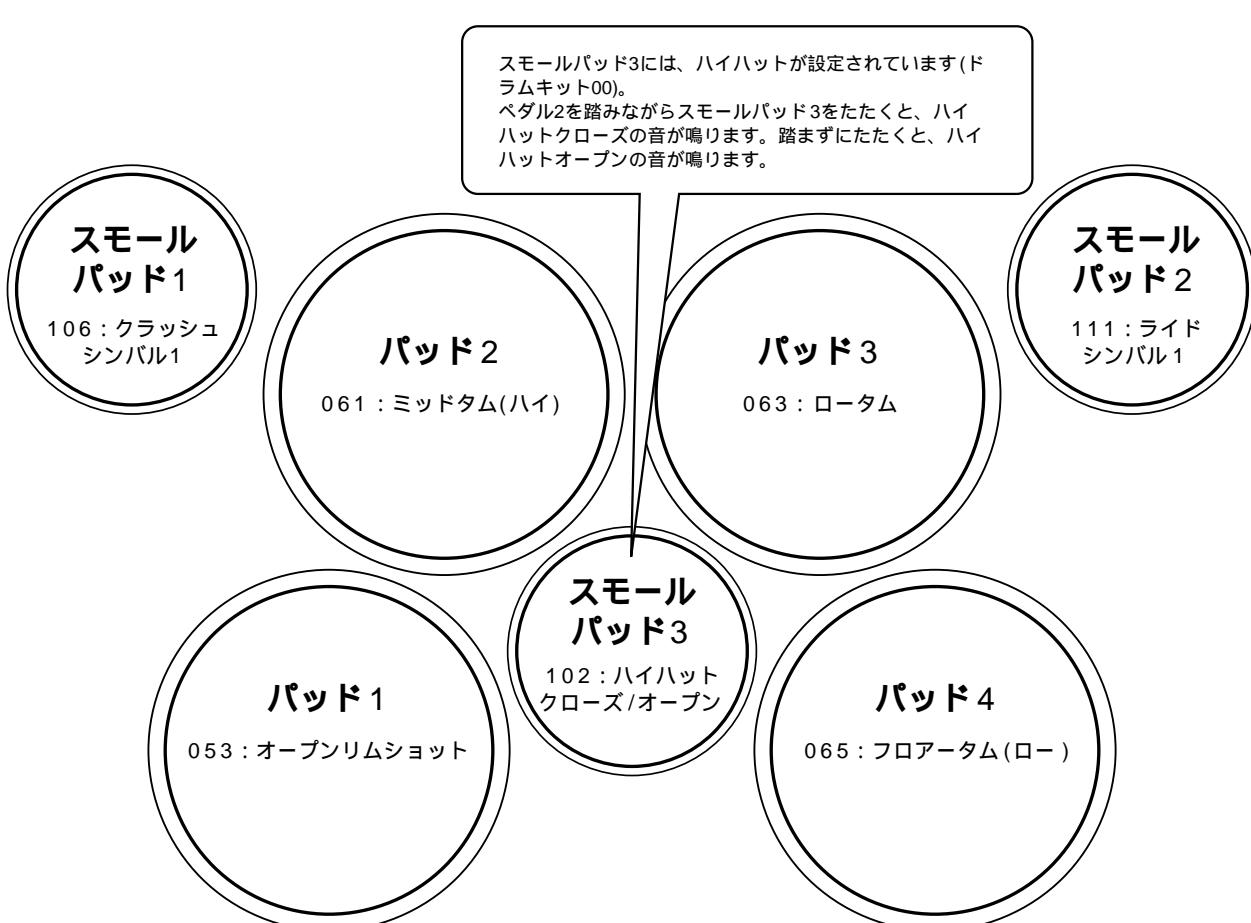
付属のドラムスティックでドラムパッドをたたくと、ドラム音が鳴ります。

ドラムパッドを手でたたくこともできます。手でたたく場合は[HAND PERC]ボタンを押して[HAND PERC]ボタンの上のランプが点灯した状態で使用します。

パッドを強くたたくと大きな音が、弱くたたくと小さな音が鳴ります。

また、パッドをたたく位置によって、同じ強さでたたいても、音の大きさに違いが出る場合があります。

パッドの名前



例) ドラムキット「00」の場合



ペダル2
102 : ハイハットペダル

ペダル2を踏むとハイハットの音(バスドラムキット「00」の場合)が鳴ります。



ペダル2では、踏む強さを変えて音量は変わりません。



ペダル1
001 : バスドラム(ハード)

ペダル1を踏むとバスドラムの音(バスドラムキット「00」の場合)が鳴ります。ペダル1では、踏む強さによって音量が変わります。



ペダル1では、踏みかたによって音が出ない場合があります。



スティックでたたくか、手でたたくかを設定

DD-55のパッドはスティックでたたいたり、手でたたいて演奏します。
ここではスティックでたたくか、手でたたくかを設定をします。

点灯しているときは
「手でたたく」設定です。



1 [HAND PERC] ボタンを押します。

[HAND PERC] ボタンを押すと、ボタンの上のランプが点灯し、パッドが手でたたくのにふさわしい感度に設定されます。



- ボタン上のランプが点灯したとき、各パッドは手でたたくのにふさわしい音色に変わります。(ソング94、キット29が自動的に選ばれる)



- ボタンの上のランプが点灯したとき、DD-55のパッド感度が上がりますので、手以外でパッドをたたかないでください。

ドラムキットの選びかた

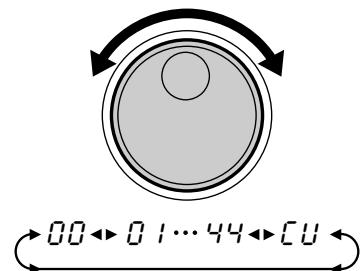
ドラムキットとは、DD-55の7つのパッドと2つのペダルに音色が割り当てられているセットのことです。
ドラムキットは45種類(00 ~ 44 38ページ「ドラムキットリスト」参照)あります。(そのほかに自分でドラム音色を各パッドに割り当てることができるカスタムキットも一つあります。 13ページ参照)
ドラムキットを選ぶと、7つのパッド、および2つのペダルの音色は、そのキットにプリセットされている音色に変わります。演奏したい音楽に合ったキットを選んで、たたいてみましょう。
選んだドラムキット(35 ~ 44)によっては一つのパッドをたたくたびにパッドの音が変わっていくものがあります。



1 [KIT] ボタンを押します。

[KIT] ボタンを押すと、現在選ばれているドラムキットのナンバーが、ディスプレイに表示されます。

2 ドラムキットナンバーを選択します。



ダイアルを使ってドラムキットのナンバーを選びます。

右(時計回り)に回すとドラムキットのナンバーが増加し、左に回すと減少します。



- 電源を入れると、ドラムキットは「00」が選ばれます。ただし、オートキットセレクト(18ページ)をオフにして電源を切り、次に電源を入れたときは、電源を切ったときのドラムキットが選ばれます。
- 「U」はカスタムキットです。パッドの音色を変更すると(13ページ「パッドやペダルの音色変更」参照)、「U」にその変更された内容が保存されます。

パッドやペダルの音色変更([CU:カスタムキット])

DD-55には、212種類の音色(ドラム音)が用意されています(35ページ「ドラム音色リスト」参照)。「[CU:カスタムキット」で、好きな音色を好きなパッドに設定して鳴らしてみましょう。



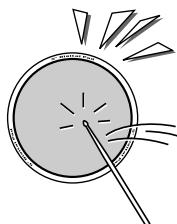
- どのドラムキットの音色を変更しても、変更後は「[CU:カスタムキット」にその内容が保存されます。
- パッドの音色を変更していない場合、「[CU」には「ドラムキット00」がセットされています。(「ドラムキットリスト」 35ページ参照)
- ドラムキット(35 ~ 44)が選ばれている場合、パッドやペダルの音色は変更できません。
- 先にドラムキット(00 ~ 34)を選んでからパッドやペダルの音色変更をします。(「ドラムキットの選びかた」 12ページ参照)

1 [PAD]ボタン押します。



008

[PAD]ボタンを押すと、パッド1に現在設定されている音色のナンバーが、ディスプレイに表示されます。



020

2 パッド(ペダル)を選択します。

変更したいパッドを一度たたく(またはペダルを踏む)と、そのパッド/ペダルに現在設定されている音色ナンバーがディスプレイに表示されます。

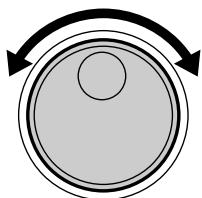
3 音色ナンバーを選択します。

パッドをたたいて(またはペダルを踏んで)聞きながら音色を選ぶ方法と、ダイアルを使って新しい音色ナンバーを選ぶ方法があります。

パッドをたたいて(またはペダルを踏んで)聞きながら音色を選ぶ方法
パッドをたたくと、またはペダルを踏むと、そのたびに音色ナンバーが1つずつ増加します。



000 → 001 → 210 → 211



000 → 001 → 210 → 211

ダイアルを回して音色ナンバーを選ぶ方法
ダイアルを右(時計回り)に回すと音色ナンバーが増加し、左に回すと減少します。

他のパッドの音色を変更する場合は上記2と3の操作を繰り返します。

4 音色変更を終了します。



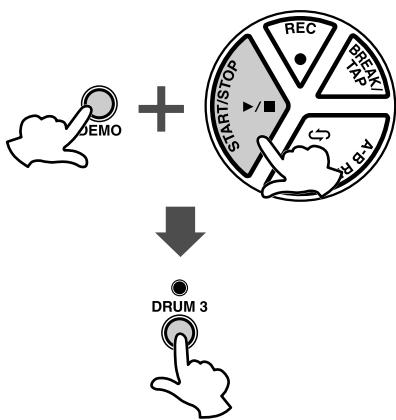
CU

[KIT]ボタンを押して、パッド/ペダルの音色変更を終了します。
音色を変更したあとは、カスタムキットが自動的に選ばれます。

設定した音で演奏してみましょう。

リバーブ(残響効果)のオン/オフ

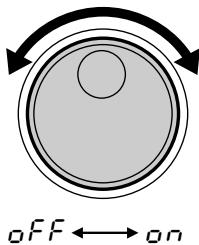
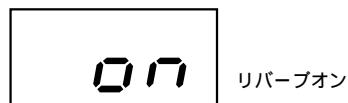
リバーブをオンにすると、演奏にリバーブ(残響効果)がかかります。



1 リバーブの設定を表示させます。

[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押して、MIDI/ユーティリティモード(「**□□**」と表示)に入れます。

[DRUM 3]ボタンを押すと、ディスプレイに現在のリバーブオン/オフ状態が表示されます。



off ← → *on*

2 オン/オフを設定します。

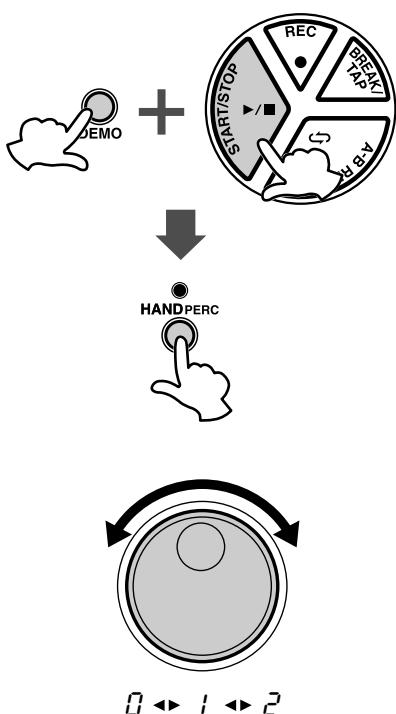
ダイアルを右(時計回り)に回すと「**□□**」(オン)が設定され、左に回すと「**□□□**」(オフ)が設定されます。

3 リバーブオン/オフの設定を終了します。

[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押して、MIDI/ユーティリティモードから抜けます。

パッドの感度を調整する

パッドの感度を調整します。設定値が大きくなるほど感度がよくなります。(設定範囲: 0 ~ 2)



1 パッド感度の設定値を表示させます。

[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押して、MIDI/ユーティリティモード(「**!!**」と表示)に入れます。
[HAND PERC]ボタンを押すと、ディスプレイに現在のパッド感度の設定値が表示されます。



2 設定値を変更します。

ダイアルを右左に回し設定値を変更します。



・パッド感度の初期設定は「**!**」です。

3 パッド感度の設定値変更を終了します。

[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押して、MIDI/ユーティリティモードから抜けます。

DD-55の音の鳴るしくみ

パッドをたたくと、そのパッドの下にあるセンサーが振動を感じて音が鳴ります。

しかし、パッドを強くたたくと、振動がほかのパッドのセンサーにも伝わり、たたいていない音まで鳴ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、DD-55では、弱い振動は「雑音」とみなし、音を鳴らさないようになっています。

ただし、このしくみにより、2つのパッドを同時にたたいたときに、片方の音が強すぎると、もう片方が「雑音」と判断されて鳴らないことがあります。

以上の問題は下記のとおり、感度設定の調整や、たたき方の工夫で解決できます。

2つのパッドをたたいても1つしか音が鳴らない

パッドの感度を「**2**」にしてください。弱くたたいたパッドも鳴りやすくなります。

2つのパッドを同じくらいの強さでたたいてください。

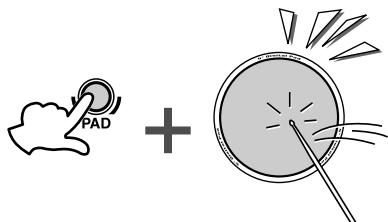
たたいていないパッドの音が鳴ってしまう

パッドの感度を「**0**」にしてください。パッドは弱い振動に反応しにくくなります。

各パッドの音量調整

パッドごとの音量を調整して、キット全体の音量バランスを調整することができます。(設定範囲: L0 ~ L9)

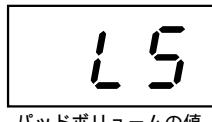
- [PAD]ボタンを押しながら、音量を変更したいパッドをたたきます。



音量変更したいパッドが選ばれます。



- 2 続いて [PAD]ボタンを押しながら、VOLUME [▲]ボタンまたはVOLUME [▼]ボタンを押して、指定しているパッドの音量を調整します。



パッドボリュームの値



・パッド音量の初期設定は「L9」です。

クリック音のオン/オフ



[CLICK]ボタンを押すと、現在のテンポ設定値(19ページ)でクリック音が鳴ります。

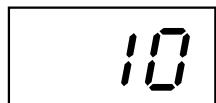
もう一度押すと、クリック音は鳴りません。

ソングを聞いてみよう

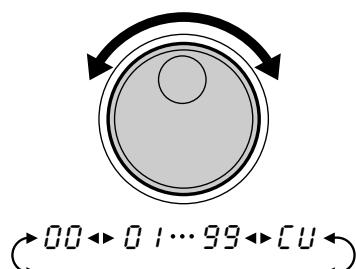
DD-55には、100種類のソングがあります。（37ページ「ソングリスト」参照）ソングを選んで、鳴らしてみましょう。

ソングを選んで聞く

1 [SONG] ボタンを押します。



[SONG]ボタンを押すと、現在選ばれているソングナンバーが、ディスプレイに表示されます。

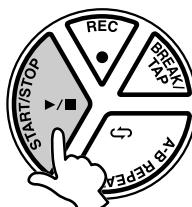


2 ソングナンバーを選択します。

ダイアルを使ってソングナンバーを選びます。右(時計回り)に回すとソングのナンバーが増加し、左に回すと減少します（37ページ「ソングリスト」参照）。



- 電源を入れたとき、ソングは自動的に「00」が選ばれます。
- オートキットセレクトがオンのとき、ソングを選ぶと、そのソングに最適なドラムキットが自動的に選択されます。（18ページ「オートキットセレクトのオン/オフ」参照）
- 各ソングの難易度は「ソングリスト」（37ページ）に記載されています。



3 ソングをスタートします。

[START/STOP]ボタンを押すと、2小節(または1小節)のカウントに続いてソングがスタートします。

ソングの再生中は、現在の小節ナンバーをディスプレイに表示します。ソングに合わせてドラムパッドをたたいてみましょう。

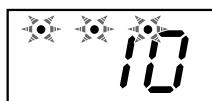
もう一度[START/STOP]ボタンを押すと、ソングがストップします。



- タップスタートでもソングをスタートすることができます。（18ページ）

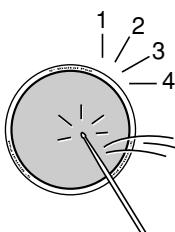
タップスタート

タップスタート機能を使用すると、ドラムパッドやペダルをたたいたテンポで、ソングをスタートさせることができます。



1 [BREAK/TAP]ボタンを押します。

ソング停止中に[BREAK/TAP]ボタンを押すと、ディスプレイ上の3つのビートランプが点滅し、タップスタート待機状態になります。タップスタートをキャンセルする場合は、もう一度[BREAK/TAP]ボタンを押します。(ビートランプ消灯)



2 タップスタートします。

4拍子のソングの場合、ドラムパッドのいずれかを4回たたくと、たたいたテンポでソングがスタートします。



・5/4拍子は5回、4/4拍子は4回、3/4拍子は3回たたくとスタートします。



3 ソングをストップします。

[START/STOP]ボタンを押すと、ソングがストップします。

オートキットセレクトのオン/オフ

オートキットセレクトは、ソングを選んだときにそのソングに最適なドラムキットが自動的に選択される機能です。

オートキットセレクトをオフにすると、ソングを変えてでもドラムキットは変更されません。

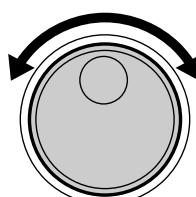


1 オートキットセレクトのオン/オフ設定を表示させます。

[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押して、MIDI/ユーティリティモード(「**DE**」と表示)になります。[SONG]ボタンを押すと、ディスプレイに現在のオン/オフ設定が表示されます。



オートキットセレクトオン



2 オン/オフを設定します。

ダイアルを右(時計回り)に回すと「**on**」(オン)が設定され、左に回すと「**off**」(オフ)が設定されます。

off ← → **on**

3 オートキットセレクトの設定を終了します。

オートキットセレクトの設定が終了したら、[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押して、MIDI/ユーティリティモードから抜けます。



- MIDI送信ノートを設定すると(30ページ)、オートキットセレクトは自動的に「*OFF*」(オフ)になります

テンポの設定

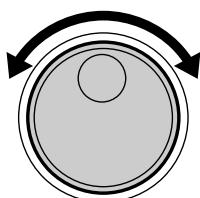
ソングのテンポを、 $\text{♩} = 32 \sim 280$ の範囲で設定します。設定値が大きくなるほどテンポが速くなります。

1 [TEMPO] ボタンを押します。



120

[TEMPO]ボタンを押すと、現在選ばれているテンポ(32 ~ 280)が、ディスプレイに表示されます。



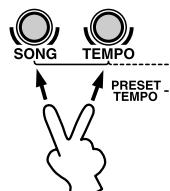
032 ▶ 033 … 279 ▶ 280

2 テンポを設定します。

ダイアルを使ってテンポを設定します。右(時計回り)に回すとテンポが速くなり、左に回すと遅くなります。(設定範囲は32 ~ 280です。) [SONG]ボタンを押して、テンポの設定を終了します。



- [SONG]ボタンと[TEMPO]ボタンを同時に押すと、現在選ばれているソングに最適なテンポが自動的に設定されます。



ビート表示について

ソングがスタートすると、ディスプレイ上の3つのビートランプが、テンポに合わせて点滅します。

例) 4/4で $\text{♩} = 120$ の場合

1拍目	2拍目	3拍目	4拍目
◦ 120	◦ 120	◦ 120	◦ 120

ソングに合わせて演奏してみよう

ソングの演奏をバックに、パッド/ペダルを鳴らして演奏してみましょう。

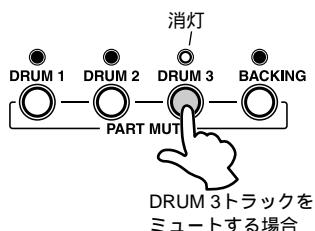


DD-55は、ドラムパッド/ペダル/ソングの演奏音や、MIDI INからの演奏情報を含めて、32音まで同時に鳴らすことができます。

トラックのオン/オフ

DD-55のソングは、4つのトラック(ドラム1/2/3、バックキング)で構成されています。

ドラム1(DRUM 1)	バスドラム
ドラム2(DRUM 2)	スネアドラム
ドラム3(DRUM 3)	シンバル
バックキング(BACKING)	バックキング



トラックボタン([DRUM 1]/[DRUM 2]/[DRUM 3]/[BACKING])を押して、トラックをオフ(ランプ消灯)にすると、そのトラックはミュート(消音)され、鳴りません。

DRUM 1/DRUM 2/DRUM 3 トラックをオフにして、カラオケのように自分で演奏することもできます。

ブレイク(BREAK)

ブレイクは、ソングの演奏中にドラムパッドをたたいて、ソング演奏を一時的にブレイク(ミュート)する機能です。

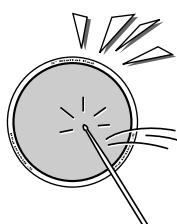
ドラム演奏のアクセントにフィルインを挿入したり、ソングの途中でドラムソロを演奏することができます。

1 ソング演奏中に[BREAK/TAP]ボタンを押します。



ソングの演奏中に[BREAK/TAP]ボタンを押すと、ディスプレイ上の3つのビートランプが点滅し、ブレイク待機状態になります。
ブレイク待機状態をキャンセルする場合は、もう一度[BREAK/TAP]ボタンを押します。(テンポに合わせてビートランプ点滅)

2 ブレイクします。



ドラムパッドのいずれかをたたく(またはフットペダルを踏む)と、たたき始めたときからその小節の最後までソング演奏がブレイク(ミュート)されます。
フィルインやドラムソロを演奏しましょう。
ブレイクの小節が終了すると、再びブレイク待機状態に戻ります。

3 ブレイクをキャンセルします。



[BREAK/TAP]ボタンを押すと、ブレイク待機状態がキャンセルされ、通常の演奏状態に戻ります。
また、ソングをストップしたときもブレイクは解除されます。

A-Bリピート

ソングを鳴らしながら練習したい場合、区間(A-B)を決めてくり返し練習することができます。



A03

1 リピート区間の先頭(A)を設定します。

ソングをスタートさせ、リピートさせたい区間の先頭位置で[A-B REPEAT]ボタンを押します。ディスプレイに「A」が表示されます。



b05

2 リピート区間の終点(B)を設定します。

リピート再生させる区間の終点位置で、もう一度[A-B REPEAT]ボタンを押します。ディスプレイに「b」が表示されます。リピート再生の区間(A-B)が設定され、1小節のカウント後、A-B間はくり返し再生されます。リピート再生中は、ディスプレイに小節番号が表示されます。(Aが始まる前の1小節のカウント中は、「A-b」を表示します。)



・ A-B間のリピート再生は、小節単位で行なわれます。



A-b

3 リピート再生をストップします。

[START/STOP]ボタンを押すと、ソングがストップします。

「A-b」表示はA-Bリピートモード中であることを示します。
もう一度[START/STOP]ボタンを押すと、再びリピート再生を実行します。



・ ソングナンバーを変えるとA-Bリピートはキャンセルされます。



リピート区間設定のキャンセル

A-Bリピートモード中(「A-b」表示)に[A-B REPEAT]ボタンを押すと、リピートモードはキャンセルされます。
また、リピート再生中に[A-B REPEAT]ボタンを押すと、リピート再生はキャンセルされ、そのまま通常の再生を続けます。

録音してみよう

DD-55は、カスタムソング(ソングナンバー：[CU])として自分の演奏を1曲(約20,000音)録音することができます。

カスタムソングに録音できるデータ

- ・ドラムパッド&ペダルの演奏
- ・ソングの再生(録音中ソングナンバーの変更不可)
- ・トラックオン/オフ
- ・テンポ(録音中変更不可)
- ・ソングボリューム

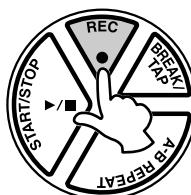
録音

1 録音の準備をします。

ソング番号(00～99)を選び、ドラムキット、テンポ設定、トラックのオン/オフ設定を行ないます。



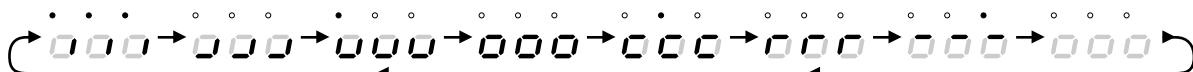
- ・ソング00～99を選んで録音してください。録音後カスタムソングに記録されます。(ソング「[CU]」を選ぶと録音できません。)



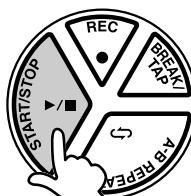
2 録音をスタートします。

[REC]ボタンを押すと、1～2小節のカウントに続いてソングが鳴ります。演奏を録音してみましょう。

録音中のディスプレイ表示は以下のようになります。(例:4拍子)



- ・録音中、クリック音をオン/オフする場合は、[CLICK]ボタンを押します。



3 録音をストップします。

[START/STOP]ボタンを押すと、録音がストップします。



- ・再度録音すると、以前のカスタムソングの内容は消去されます。
- ・録音中にメモリー容量がいっぱいになると「FL」がディスプレイに表示され、録音は自動的にストップします。

再生

録音したカスタムソング(CU)は、ソング(00～99)と同じ方法で再生することができます。



ソングナンバー「[CU]」は、「99」のあと(「00」の前)に表示されます。

MIDI機器を接続して演奏しましょう

DD-55は右側サイドパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、DD-55のMIDI関連の操作方法などについて説明します。

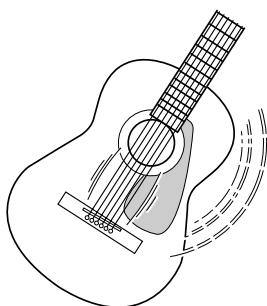
MIDIって何？

「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはアコースティックピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。

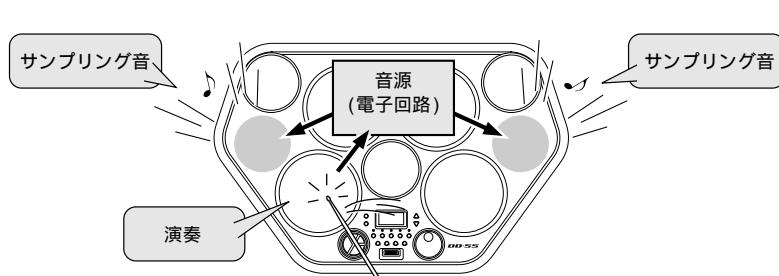
それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようななしきみで音を鳴らしているのでしょうか？

アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

電子楽器(デジタル楽器)の発音



パッド(またはペダル)からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょうか？

鍵盤楽器の場合を例にすると、グランドピアノの音色で「ド」の音を4分音符の長さで強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どの音色で」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押されたか」「いつ離したか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音を鳴らすのです。

演奏情報の例

音色ナンバー(どの音色で)	1(グランドピアノ)
ノートナンバー(どの鍵盤を)	60(ド:C3)
ノートオン(いつ押されたか) & ノートオフ(いつ離したか)	タイミングを数値化(4分音符)
ペロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)



GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーと機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設計された、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。

「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。

DD-55はGMシステムレベル1に対応しています。

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなど)で演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

チャンネルメッセージ

DD-55は16チャンネル扱える電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	DD-55の操作/パネル設定
ノートオン/オフ	パッド(またはペダル)の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	音色の設定 (コントロールチェンジのパンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定、DD-55では受信だけ可能)
コントロールチェンジ	音色の設定(ボリューム、パンポットなど)など (DD-55では受信だけ可能)

システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	DD-55の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/コーラス/DSPタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック スタート/ストップ

MIDIインプリメンテーションチャート(43ページ)にDD-55で送信/受信できるメッセージが掲載されています。チャートを見ながらメッセージの内容を理解しましょう。

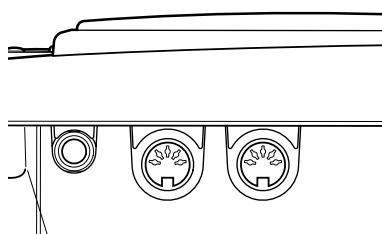
MIDI端子について

複数の機器間でMIDIデータ(演奏情報)をやりとりするために、それらの機器をMIDIケーブルで接続します。

DD-55の右側サイドパネルには2種類のMIDI端子がついています。

MIDI IN.....他のMIDI機器からのMIDIデータを受信します。

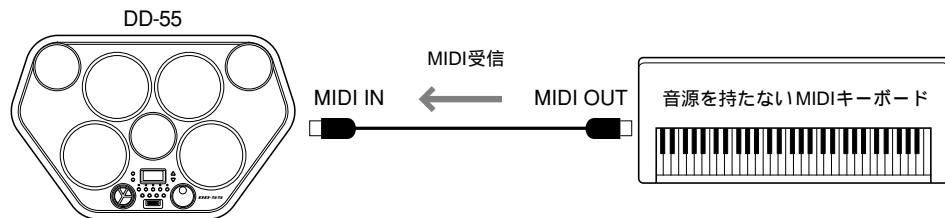
MIDI OUT.....DD-55の演奏情報をMIDIデータとして他のMIDI機器へ送信します。



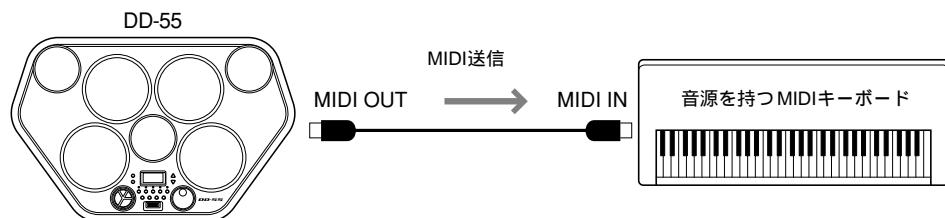
MIDIでできること

DD-55右側サイドパネルにはMIDI端子(MIDI IN, MIDI OUT)が装備されています。MIDI機能を活用すれば、音楽の可能性を広げることができます。

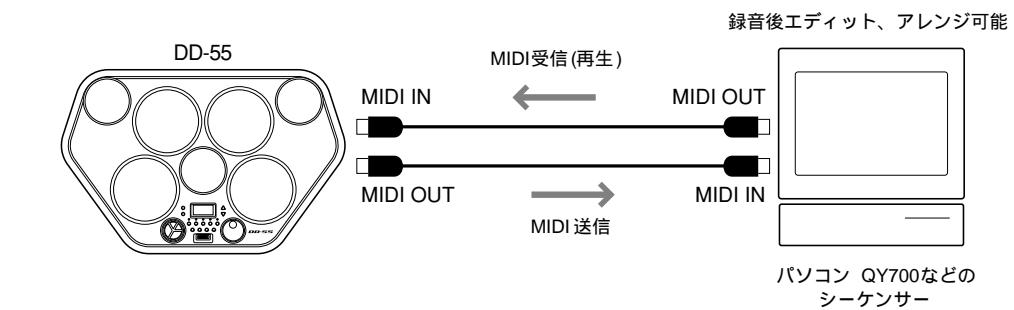
MIDIキーボード(音源なし)の演奏をDD-55で鳴らすことができます。



DD-55の演奏データ(パッドやペダルを使った演奏: 1~16チャンネル)を外部の楽器で鳴らすことができます。



DD-55の演奏データ(パッドやペダルを使った演奏: 1~16チャンネル)をまとめて、コンピューターやシーケンサーに録音できます。録音後にエディットしてDD-55で鳴らすこともできます。



・パソコンを使用する場合は、専用のソフトウェア(シーケンスソフト)が必要になります。

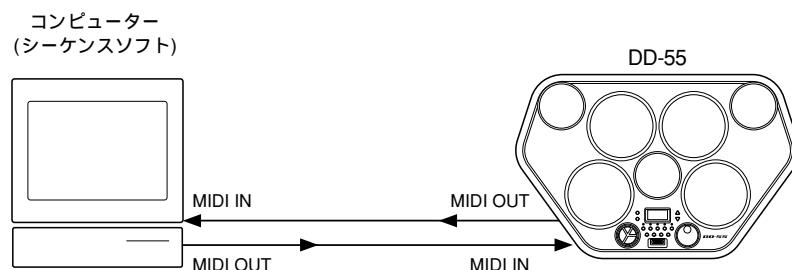
パソコンと接続する

DD-55のMIDI端子とパソコン(パソコンと接続する)を接続すると、パソコン用の音楽ソフトを楽しむことができます。

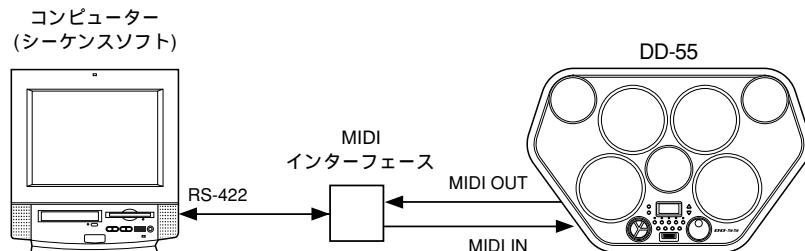
コンピューター側に取り付けたMIDIインターフェース機器を使用して、コンピューターとDD-55のMIDI端子を接続します。

接続に使用するケーブルは、専用のMIDIケーブルをご使用ください。

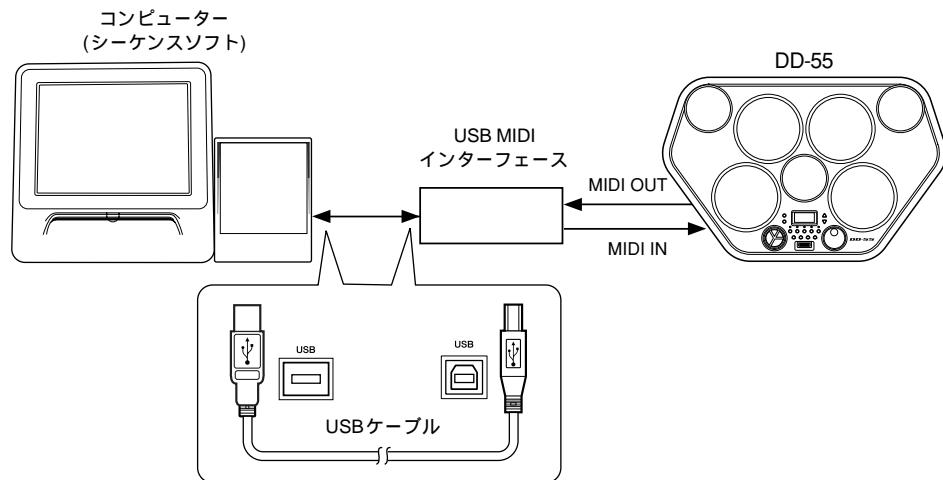
コンピューターとDD-55のMIDI端子を接続します。



MacintoshシリーズにMIDIインターフェース(別売)を使用する場合は、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)にMIDIインターフェースを下図のように接続します。



USB端子付属のコンピューターとDD-55を接続する場合は、USB専用の「USB MIDIインターフェース」が必要になります。



* Macintoshシリーズをお使いの場合、使用するMIDIインターフェースの設定に合わせて、アプリケーションソフトウェア側で、MIDIインターフェースのクロックを設定してください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をよくお読みください。

MIDI/ユーティリティモードの入り方/抜け方

[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押すと、ディスプレイに「**八八**」が表示されMIDI/ユーティリティモードに入ります。



メモ メモ • MIDI/ユーティリティモードに入ると、通常の演奏や録音はできません。

もう一度[DEMO]ボタンと[START/STOP]ボタンを同時に押すと、MIDI/ユーティリティモードを抜け、通常の演奏状態に戻ります。



クロックの設定

DD-55を、MIDIケーブルで接続した外部機器のクロックに、同期させる「**!**」/させない「**E**」を設定します。

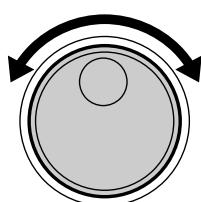
!(インターナル) DD-55の内部クロックで動作します。

E(エクステーナル) 接続した外部機器のクロックで動作します。(この設定で外部からクロック信号が入力されない場合、ソングやデモはスタートしません。)



1 クロックの設定を表示させます。

MIDI/ユーティリティモードに入り、[DRUM 1]ボタンを押すと、ディスプレイに現在設定されているクロック設定が表示されます。



2 エクステーナル/インターナルを設定します。

ダイアルを右(時計回り)に回すと「**!**」(インターナル)が設定され、左に回すと「**E**」(エクステーナル)が設定されます。

3 クロックの設定を終了します。

クロックの設定が終了したら、MIDI/ユーティリティモードを抜けます。



メモ • クロックの初期設定は「**!**」(インターナル)です。

ローカルオン/オフ設定

ローカルコントロールのオン/オフ設定を行ないます。ローカルコントロールとは、DD-55の演奏を、DD-55の内部音源で鳴らす(オン)/鳴らさない(オフ)という設定です。

on (ローカルオン) 本体の演奏は通常どおりDD-55で発音します。また、MIDI INから受信した情報もDD-55で発音します。

off (ローカルオフ) 本体の演奏はDD-55で発音しません。ただし、演奏データはMIDI OUTから送信されます。また、MIDI INから受信した情報はDD-55で発音します。

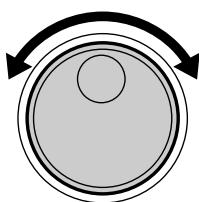


- 通常ローカルオン/オフはondeで使用します。
MIDI機器からDD-55の演奏しているデータがMIDI INに入力され、音が重なって鳴る場合などにローカルをオフにします。



1 ローカルオン/オフの設定を表示させます。

MIDI/ユーティリティモードに入り、[DRUM 2]ボタンを押すと、ディスプレイに現在設定されているローカルオン/オフ設定が表示されます。



off \longleftrightarrow *on*

2 ローカルオン/オフを設定します。

ダイアルを右(時計回り)に回すと「*on*」(ローカルオン)が設定され、左に回すと「*off*」(ローカルオフ)が設定されます。

3 ローカルオン/オフの設定を終了します。

ローカルオン/オフ設定が終了したら、MIDI/ユーティリティモードを抜けます。



- DD-55の演奏情報(デモ曲を含む)は、ローカルコントロールのオン/オフ設定にかかわらず、MIDI OUTから外部機器に送信されます。
- ローカルオン/オフの初期設定は「*on*」(ローカルオン)です。

MIDI送信チャンネルの設定

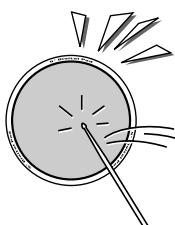
パッド/ペダル(合計：9つ)それぞれの送信チャンネルを、1～16、またはオフ(Off：送信しない)に設定することができます。また、ソングの送信チャンネルは、以下のようにになります。

	送信チャンネル	初期設定
パッド/ペダル	1～16	10
ドラム(ソング)	10 (固定)	10
パッキング(ソング)	11～16 (固定)	11～16
パッド/ペダル(カスタム)	10 (固定)	10

1 送信チャンネルナンバーを表示させます。

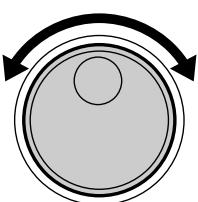


MIDI/ユーティリティモードに入り、[PAD]ボタンを押すと、ディスプレイにはパッド1の送信チャンネルナンバーが表示されます。



2 送信チャンネルを変更するパッドを選択します。

送信チャンネルを変更したいパッドを一度たたくと、そのパッドに現在設定されている送信チャンネルのナンバーがディスプレイに表示されます。



0 1 02 … 16 OFF

3 送信チャンネルを選択します。

ダイアルを右(時計回り)に回すと送信チャンネルナンバーが増加し、左に回すと減少します。



パッドをたたいて、送信チャンネルナンバーを選ぶこともできます。パッドをたたくと、たたくたびにナンバーが1つずつ増加します。

4 MIDI送信チャンネルの設定を終了します。

各パッド/ペダルの変更が終了したら、MIDI/ユーティリティモードを抜けます。

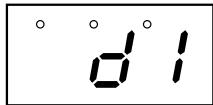


MIDI送受信データに関する詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」(43ページ)を参照してください。

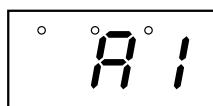
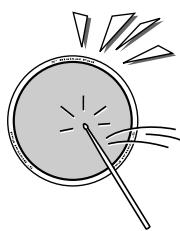
MIDI送信ノートの設定

パッド/ペダル(合計：9つ)それぞれのMIDI送信ノートを、C-2～G8に設定することができます。

1 送信ノートを表示させます。



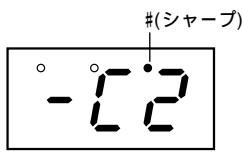
MIDI/ユーティリティモードに入り、[KIT]ボタンを押すと、ディスプレイにはパッド1の送信ノートが表示されます。



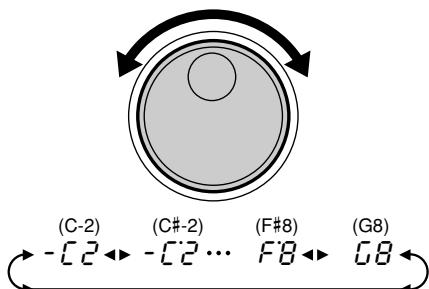
2 送信ノートを変更するパッドを選択します。

送信ノートを変更したいパッドを一度たたくと、そのパッドに現在設定されているノートがディスプレイに表示されます。

右側のビートランプは#(シャープ)を表わします。



C#-2の表示



3 送信ノートを選択します。

ダイアルを右(時計回り)に回すと送信ノートが増加し、左に回すと減少します。



パッドをたたいて、送信ノートを選ぶこともできます。パッドをたたくと、たたくたびに送信ノートが半音ずつ増加します。

4 MIDI送信ノートの設定を終了します。

各パッド/ペダルの変更が終了したら、MIDI/ユーティリティモードを抜けます。



- 送信ノートと音色の関係は、「ドラムマップ」(40ページ)を参照してください。
- ドラムキットを選択したり、カスタムキットを設定した場合、MIDI送信ノートはその初期設定値になります。また、オートキットセレクトがオンのときにソングを変更すると、MIDI送信ノートは選ばれたドラムキットの初期設定値になります。
- 送信ノートを変更すると、オートキットセレクトは自動的にオフになります。

DD-55とコンピューター間でソングデータを送受信する

この操作をするためには、コンピューターを使用してインターネットに接続し、下記ヤマハのURLからSong Filerのアプリケーションを取り込み(アプリケーションは無料)、ご使用のコンピューターにアプリケーションをインストールする必要があります。

インストール後に、DD-55のMIDI端子とコンピューターを接続してソングデータを送受信することができます。

DD-55のカスタムソングにデータを読み込むと、他のソング同様にDD-55のソングとして鳴らすことができます。

DD-55とコンピューター間で送受信できる内容

- ・ソング数: 1ソング(ソング“CU”)
- ・データ量: 100Kbytes
- ・データフォーマット: SMF Format 0

Song Filerをインストールする.....

コンピューターを使用しインターネット上の以下のURLからSong Filerのアプリケーションを取り出します。

Yamaha PK CLUB (Portable Keyboard Home Page)
<http://www.yamahaPKclub.com/>

Song Filer使用するために必要なコンピューターシステム

[Windows]

- OS: Windows 95/98/Me/2000
 CPU: Pentium/100MHz以上
 メモリー: 8MB以上
 ハードディスク空き容量: 2MB以上
 ディスプレイ: 800 x 600, 256色以上

[Macintosh]

- OS: Mac OS 7.5以上
 CPU: Power PC以上
 メモリー: 8MB以上
 ハードディスク空き容量: 2MB以上
 ディスプレイ: 800 x 600, 256色以上



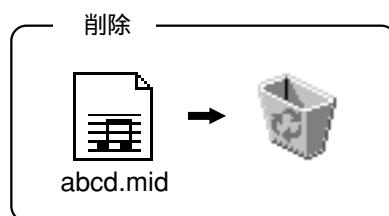
- ・上記URLに接続していただくと、Song Filerの最新バージョンが入手できます。
- また、インストールの方法もご案内しております。

Song Filerを使用する

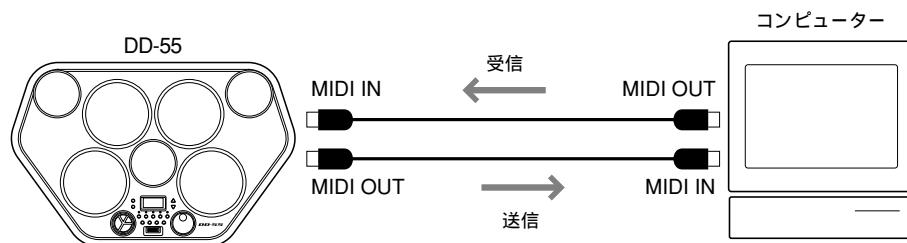
Song Filerをコンピューターにインストールしたあと、DD-55とコンピューターを以下のように接続します。(26ページ)

Song Filerの使用方法はSong Filerについている説明ファイル(PDF)を参照ください。

DD-55 のカスタムソングを削除する
ソングデータをDD-55 に送信する前にDD-55 のカスタムソングを削除しておく必要があります。



DD-55 とコンピューター間でデータを送受信する
コンピューター側からDD-55へソングデータを送受信します。

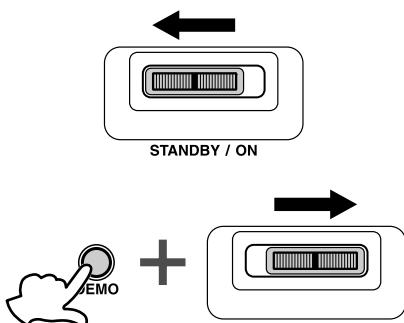


初期化(イニシャライズ)の方法

DD-55のカスタムソング、カスタムキット、パネル設定は、電源アダプターが接続されているか、乾電池がセットされていればバックアップされています。これらの設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行なってください。

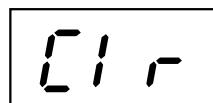


- 初期化すると録音した内容や設定している内容が消えてしまいます。



① [STANDBY/ON](電源)スイッチをSTANDBY側に切り替えます。

② [DEMO]ボタンを押しながら、[STANDBY/ON](電源)スイッチをON側に切り替えて、電源を入れると、初期化が実行されます。
初期化が終了すると、ディスプレイに「[/]」が表示されます。



電源を切っても記憶される内容

以下の内容は、電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合、電源を切っても記憶されています。

- カスタムソング
- カスタムキット
- オートキットセレクト
- MIDI送信チャンネル
- MIDI送信ノート
- パッド感度

オプション(別売)商品のご紹介

電源アダプター

PA-5C ￥3,000

ヘッドフォン

HPE-150 ￥4,000

HPE-3 ￥3,000



商品の金額には、消費税は含まれておりません。

故障かな？と思ったら

使用中に正常に動作しなくなった場合は、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない場合、または下記以外の異常が認められた場合は、お買上店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

現象	原因/解決方法
電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。故障ではありません。
ディスプレイが暗い	
ドラムパッドをたたくと、ディスプレイ表示が暗くなり、「000」表示に戻る。	電池が消耗しています。6本とも新しい電池と交換するか、または、別売の電源アダプター PA-5CまたはPA-5Dを使用してください。 (7ページ)
カスタムキットの設定内容が失われた(初期化された)。	
DD-55から雑音がでる。	DD-55の近くで携帯電話を使用すると(または呼び出し音が鳴ると)雑音が出る場合があります。携帯電話を切るかDD-55のそばで携帯電話を使用しないでください。
音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量レベルが下がっています。音量を調節してください。 (10ページ) PHONES/OUTPUT端子にプラグまたはヘッドフォンが接続されています。プラグまたはヘッドフォンを抜いてください。 (9ページ) ローカルオン/オフの設定が「OFF」(オフ)に設定されています。「ON」(オン)に設定してください。 (28ページ) MIDI/ユーティリティモードに入っています。MIDI/ユーティリティモードから抜けてください。 (27ページ)
2つのパッドを同時にたたいたときに、片側のパッドの音が鳴らない場合がある。	「DD-55の音の鳴るしくみ」(15ページ)を参照してください。
パッドをたたいたときに、たたいていないパッドの音が鳴る場合もある。	
ドラムパッドをたたいても、設定した音色が鳴らない。	パッドの音色設定が正しく行なわれていません。もう一度パッドの音色を設定してください。 (13ページ)
ソングがスタートしない。	MIDIクロックの設定が「E」(エクステナル)に設定されています。「I」(インターナル)に設定してください。 (27ページ)
電源を入れたとき「[Err」と表示され、メモリーされていた内容が消えた。	乾電池が入っていない場合や、電源アダプターが差し込まれていない場合にメモリーの内容は初期化されます。 (33ページ)

ドラム音色リスト

パネル音色リスト

音色 ナンバー	音色名
000	バスドラム(ソフト)♦
001	バスドラム(ハード)♦
002	バスドラム♦
003	バスドラム(ソフト)
004	バスドラム(ハード)
005	バスドラム
006	バスドラム2
007	ルームバスドラム
008	ロックバスドラム(ソフト)
009	ロックバスドラム(ハード)
010	ロックバスドラム
011	Elec.バスドラム(ハード)
012	Elec.バスドラム
013	ダンスバスドラム(ソフト)
014	ダンスバスドラム(ハード)
015	ダンスバスドラム
016	ジャズバスドラム(ソフト)
017	ジャズバスドラム(ハード)
018	ジャズバスドラム
019	スネアH(ソフト)♦
020	スネアM♦
021	スネアH(ハード)♦
022	スネアH(ソフト)
023	スネアM
024	スネアH(ハード)
025	スネアH(ソフト)2
026	スネアM2
027	スネアH(ハード)2
028	ルームスネアH(ソフト)
029	ルームスネアM
030	ルームスネアH(ハード)
031	ロックスネアH(ソフト)
032	ロックスネアM
033	ロックスネアH(ハード)
034	スネアL
035	Elec.スネアM
036	Elec.スネアH
037	ダンススネアスナッピー
038	ダンススネアM

音色 ナンバー	音色名
039	ダンススネアH(ハード)
040	ジャズスネアH(ソフト)
041	ジャズスネアM
042	ジャズスネアH(ハード)
043	ブラッシュタップ♦
044	ブラッシュスラップ♦
045	ブラッシュタップ
046	ブラッシュスラップ
047	サイドスティック♦
048	サイドスティック
049	サイドスティック2
050	ルームサイドスティック
051	ダンスサイドスティック
052	ジャズサイドスティック
053	オープンリムショット♦
054	オープンリムショット
055	オープンリムショット2
056	ルームオープンリムショット
057	ダンスオープンリムショット
058	ジャズオープンリムショット
059	スティック
060	ハイタム♦
061	ミッドタムH♦
062	ミッドタムL♦
063	ロータムL♦
064	フロアータムH♦
065	フロアータムL♦
066	ハイタム
067	ミッドタムH
068	ミッドタムL
069	ロータム
070	フロアータムH
071	フロアータムL
072	ルームハイタム
073	ルームミッドタムH
074	ルームミッドタムL
075	ルームロータム
076	ルームフロアータムH
077	ルームフロアータムL

音色 ナンバー	音色名
078	ロックハイタム
079	ロックミッドタムH
080	ロックミッドタムL
081	ロックロータム
082	ロックフロアータムH
083	ロックフロアータムL
084	Elec.ハイタム
085	Elec.ミッドタムH
086	Elec.ミッドタムL
087	Elec.ロータム
088	Elec.フロアータムH
089	Elec.フロアータムL
090	ダンスハイタム
091	ダンスマッドタムH
092	ダンスマッドタムL
093	ダンスロータム
094	ダンスフロアータムH
095	ダンスフロアータムL
096	ジャズハイタム
097	ジャズミッドタムH
098	ジャズミッドタムL
099	ジャズロータム
100	ジャズフロアータムH
101	ジャズフロアータムL
102	ハイハットクローズ/オープン♦*
103	ハイハットオープン♦
104	ハイハットクローズ/オープン*
105	ハイハットオープン
106	クラッシュシンバル1♦
107	クラッシュシンバル2♦
108	クラッシュシンバル1
109	クラッシュシンバル2
110	ダンシンバル
111	ライドシンバル1♦
112	ライドシンバル2♦
113	ライドシンバル1

♦印の付いている音色はステレオで録音されています。

* 印の音色をパッドとペダル2(フットスイッチ)に設定したとき、ペダルで音色を変えることができます。

- ・ペダル2を踏んでいるとき、パッドをたたくとハイハットクローズが鳴ります。
- ・ペダル2を踏まないでパッドをたたくとハイハットオープンが鳴ります。
- ・ペダル2を踏んだときは、ハイハットペダルが鳴ります。
- ・複数のパッドにこの音色を設定した場合、ペダル2で音色が変わるのは一番左のパッドだけです。

音色 ナンバー	音色名
114	ライドシンバル2
115	ライドシンバルカップ♦
116	ライドシンバルカップ
117	チャイニーズシンバル♦
118	チャイニーズシンバル
119	スプラッシュシンバル♦
120	スプラッシュシンバル
121	ハンドクラップ
122	フィンガースナップ
123	タンボリン♦
124	タンボリン
125	カウベル
126	カウベル
127	ダンスカウベル
128	ジャズカウベル
129	コンガ H クローズ♦
130	コンガ H オープン♦
131	コンガ L♦
132	コンガ H クローズ
133	コンガ H オープン
134	コンガ L
135	ダンスコンガ H ミュート
136	ダンスコンガ H オープン
137	ダンスコンガ L
138	ジャズコンガ H クローズ
139	ジャズコンガ H オープン
140	ジャズコンガ L
141	ボンゴ H♦
142	ボンゴ L♦
143	ボンゴ H
144	ボンゴ L
145	ティンバレス H♦
146	ティンバレス L♦
147	ティンバレス H
148	ティンバレス L
149	アゴゴ H
150	アゴゴ L
151	カバサ♦
152	カバサ

音色 ナンバー	音色名
153	マラカス♦
154	マラカス
155	シェイカー♦
156	シェイカー
157	クラベス
158	トライアングルミュート
159	トライアングルオープン
160	ギロショート♦
161	ギロショート
162	ギロング
163	クィーカミュート
164	クィーカオーブン
165	カスタネット
166	ジャズカスタネット
167	ビブラスラップ
168	ウッドブロック H
169	ウッドブロック L
170	ジングルベル
171	ベルツリー
172	パンデイロケト♦
173	パンデイロソルト♦
174	パンデイロポンタ♦
175	パンデイロカムカムバー♦
176	タンボリンソルト♦
177	タンボリンポンタ♦
178	タンボリンナイロン♦
179	コンガマフル♦
180	スルドーミュート
181	スルドーオーブン
182	HiQ
183	HiQ ロー
184	ウイップスラップ
185	スクラッチッシュ
186	スクラッチブル
187	クリックノイズ
188	メトロノームクリック
189	メトロノームベル
190	シークリック L
191	シークリック H

音色 ナンバー	フレーズ名
192	シンプルロック
193	ポップロック
194	ロックンロール
195	グルーブロック
196	ハードロック
197	コンテンポラリー R&B
198	ハードシャッフル
199	ブルースシャッフル
200	A.O.R
201	ソウル
202	クラブミックス
203	ハウス
204	ジャズファンク
205	バラード
206	R&B
207	モータータウン
208	スイングジャズ
209	アーバンファンク
210	フュージョン
211	フュージョンサンバ

メモ:

- フレーズのデータは MIDI 送信されません。
- パンのデータは固定です。たとえばパンが右に設定されている音色を左のパッドに設定した場合、このパッドをたたくと右から音が聞こえます。

ソングリスト

ソングナンバー	ソング名	難易度
デモ		
00	テクニカルファンク	—
01	ヘビーメタル	
02	ハイパーダンスマックス	
03	ラテンフュージョン	
04	ストレートアヘッド	
パターン		
05	シンプルロック	—
06	ポップロック	
07	R&R 1	
08	R&R 2	
09	グルーブロック	
10	ハードロック1	—
11	ハードロック2	
12	コンテンポラリー R&B	
13	ハードシャッフル	
14	ブルースシャッフル	
15	A.O.R 1	—
16	A.O.R 2	
17	ソール1	
18	ソール2	
19	クラブミックス	
20	ハウス	—
21	ジャズファンク1	
22	ジャズファンク2	
23	バラード	
24	R&B	
25	モータータウン	—
26	アーバンファンク	
27	フュージョン1	
28	フュージョン2	
29	フュージョンサンバ	
30	スイングジャズ1	—
31	スイングジャズ2	
フィルイン		
32	シンプルロック	

ソングナンバー	ソング名	難易度
33	ポップロック1	
34	ポップロック2	
35	R&R 1	
36	R&R 2	
37	グルーブロック1	
38	グルーブロック2	
39	ハードロック1	
40	ハードロック2	
41	コンテンポラリー R&B	
42	ハードシャッフル1	
43	ハードシャッフル2	
44	ブルースシャッフル1	
45	ブルースシャッフル2	
46	A.O.R 1	
47	A.O.R 2	
48	ソウル1	
49	ソウル2	
50	クラブミックス1	
51	クラブミックス2	
52	ハウス1	
53	ハウス2	
54	ジャズファンク1	
55	ジャズファンク2	
56	バラード1	
57	バラード2	
58	R&B 1	
59	R&B 2	
60	モータータウン1	
61	モータータウン2	
62	アーバンファンク 1	
63	アーバンファンク 2	
64	フュージョン 1	
65	フュージョン 2	
66	フュージョンサンバ 1	
67	フュージョンサンバ 2	
68	スイングジャズ1	

ソングナンバー	ソング名	難易度
69	スイングジャズ2	
ソング		
70	シンプルロック	—
71	ポップロック	
72	R&R	
73	グルーブロック	
74	ハードロック	
75	コンテンポラリー R&B	—
76	ハードシャッフル	
77	ブルースシャッフル	
78	A.O.R	
79	ソウル	
80	クラブミックス	—
81	ハウス	
82	ジャズファンク	
83	バラード	
84	R&B	
85	モータータウン	—
86	アーバンファンク	
87	フュージョン	
88	フュージョンサンバ	
89	スイングジャズ	
ラテン		
90	マンボ	—
91	ルンバ ワンコーズ	
92	ボサノバ	
93	サンバ バッカーダ	
94	チャチャチャ	—
95	コンバルサ	
96	ソンゴ	
97	モザンビーケ	
98	レゲエ	
99	ベンベ(アフリカ 6/8)	

デモ: ドラムのデモ演奏です。

パターン: ドラム練習に適した基本パターンです。

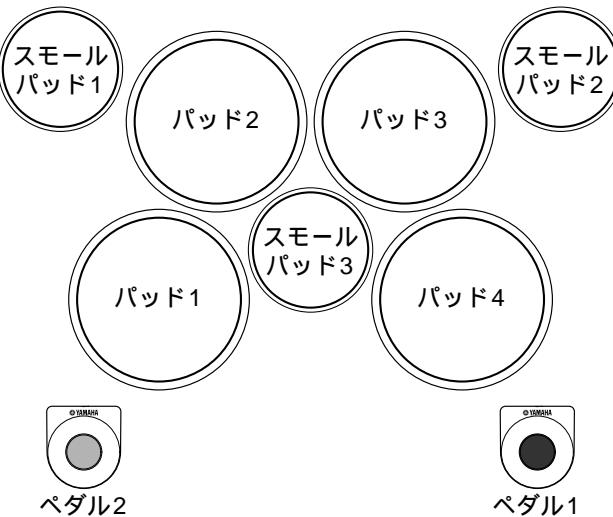
フィルイン: フィルインパターンです。

ソング: ドラムパターンやフィルインが入っていて、曲の構成になってます。

ラテン: ラテンのパターンです。

難易度: の数が多いほどむずかしくなります。

ドラムキットリスト



カテゴリ	キットナンバー	キット名	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4
デモ	00	ステレオ1	053 オープンリムショット♦	061 ミッドタムH♦	063 ロータムL♦	065 フロアタムL♦
	01	ヘビーメタル	032 ロックスネアM	080 ロックミッドタムL	081 ロックロータム	083 ロックフロアタムL
	02	ダンス	057 ダンスオープンリムショット	147 ティンパレスH	148 ティンパレスL	015 ダンスバスドラム
	03	ラテン	130 コンガHオーブン♦	145 ティンパレスH♦	146 ティンパレスL♦	134 コンガL
	04	ステレオ2	053 オープンリムショット♦	060 ハイタム♦	062 ミッドタムL♦	064 フロアタムH♦
ソング	05	スタンダード1	024 スネアH(ハード)	067 ミッドタムH	068 ミッドタムL	070 フロアタムH
	06	ロック1	033 ロックスネアH(ハード)	078 ロックハイタム	080 ロックミッドタムL	081 ロックロータム
	07	R&R	023 スネアM	067 ミッドタムH	069 ロータム	071 フロアタムL
	08	ロック2	032 ロックスネアM	080 ロックミッドタムL	081 ロックロータム	083 ロックフロアタムL
	09	ハードロック	024 スネアH(ハード)	067 ミッドタムH	068 ミッドタムL	070 フロアタムH
	10	R&B1	032 ロックスネアM	048 ロックミッドタムL	081 ロックロータム	083 ロックフロアタムL
	11	シャッフル	053 オープンリムショット♦	061 ミッドタムH♦	063 ロータムL♦	065 フロアタムL♦
	12	ブルース	053 オープンリムショット♦	060 ハイタム♦	062 ミッドタムL♦	064 フロアタムH♦
	13	A.O.R.	053 オープンリムショット♦	061 ミッドタムH♦	063 ロータムL♦	064 フロアタムH♦
	14	ソウル	033 ロックスネアH(ハード)	079 ロックミッドタムH	081 ロックロータム	083 ロックフロアタムL
	15	クラブ	030 ルームスネアH(ハード)	074 ルームミッドタムL	075 ルームロータム	077 ルームフロアタムL
	16	ハウス	057 ダンスオープンリムショット	092 ダンスマッドタムL	093 ダンスロータム	094 ダンスフロアタムH
	17	ジャズファンク	024 スネアH(ハード)	067 ミッドタムH	069 ロータム	070 フロアタムH
	18	バラード	030 ルームスネアH(ハード)	072 ルームハイタム	074 ルームミッドタムL	076 ルームロータム
	19	R&B2	023 スネアM	068 ミッドタムL	069 ロータム	070 フロアタムH
	20	R&B3	024 スネアH(ハード)	067 ミッドタムH	069 ロータム	071 フロアタムL
	21	ファンク	054 オープンリムショット	081 ミッドタムL	120 ロータム	083 フロアタムH
	22	フュージョン1	053 オープンリムショット♦	061 ミッドタムH♦	063 ロータムL♦	064 フロアタムH♦
	23	フュージョン2	024 スネアH(ハード)	066 ハイタム	068 ミッドタムL	069 ロータム
	24	ジャズ	055 オープンリムショット2	096 ジャズハイタム	098 ジャズミッドタムL	100 ジャズフロアタムH
ラテン	25	マンボ	048 サイドスティック	066 ハイタム	068 ミッドタムL	069 ロータム
	26	ルンバ	048 サイドスティック	066 ハイタム	069 ロータム	070 フロアタムH
	27	ボサノバ	048 サイドスティック	066 ハイタム	068 ミッドタムL	069 ロータム
	28	サンバ	176 タンボリンソルト♦	164 キィーカオーブン	163 キィーカミュート	178 タンボリンナイロン♦
	29	チャチャチャ	130 コンガHオーブン♦	141 ボンゴH♦	142 ボンゴL♦	131 コンガL♦
	30	コンパルサ	054 オープンリムショット	066 ハイタム	068 ミッドタムL	069 ロータム
	31	ソンゴ	054 オープンリムショット	066 ハイタム	069 ロータム	070 フロアタムH
	32	コンガ	130 コンガHオーブン♦	141 ボンゴH♦	142 ボンゴL♦	131 コンガL♦
	33	レゲエ	048 サイドスティック	024 スネアH(ハード)	067 ミッドタムH	069 ロータム
	34	ベンベ	024 スネアH(ハード)	067 ミッドタムH	069 ロータム	070 フロアタムH
シーケンスキット	35	シーケンスキット1	シーケンスキットは1つのリズムパターンになっています。たたいたタイミングでパターンが鳴ります。タイミングよくたたいてください。			
	36	シーケンスキット2				
	37	シーケンスキット3				
	38	シーケンスキット4				
	39	シーケンスキット5				
	40	シーケンスキット6				
	41	シーケンスキット7				
	42	シーケンスキット8				
	43	シーケンスキット9				
	44	シーケンスキット10				

◆ 印の付いている音色はステレオで録音されています。

* 印の音色をパッドとペダル2(フットスイッチ)に設定したとき、ペダルで音色を変えることができます。

- ・ペダル2を踏んでいるとき、パッドをたたくとハイハットクローズが鳴ります。
- ・ペダル2を踏まないでパッドをたたくとハイハットオープンが鳴ります。
- ・ペダル2を踏んだときは、ハイハットペダルが鳴ります。
- ・複数のパッドにこの音色を設定した場合、ペダル2で音色が変わるのは一番左のパッドだけです。

スモールパッド1	スモールパッド2	スモールパッド3	ペダル1	ペダル2
106 クラッシュシンバル1♦	111 ライドシンバル1♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*	001 バスドラム(ハード)♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	105 ハイハットオープン	010 ロックバスドラム	010 ロックバスドラム
120 スプラッシュシンバル	182 Hi Q	104 ハイハットクローズ/オープン*	014 ダンスバスドラム(ハード)	104 ハイハットクローズ/オープン*
106 クラッシュシンバル1♦	125 カウベル	129 コンガ Hクローズ♦	000 バスドラム(ソフト)	157 クラベス
106 クラッシュシンバル1♦	111 ライドシンバル1♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*	001 バスドラム(ハード)♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*
108 クラッシュシンバル1	113 ライドシンバル1	104 ハイハットクローズ/オープン*	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	113 ライドシンバル1	104 ハイハットクローズ/オープン*	008 ロックバスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	113 ライドシンバル1	104 ハイハットクローズ/オープン*	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	104 ハイハットクローズ/オープン*	010 ロックバスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	104 ハイハットクローズ/オープン*	005 バスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	113 ライドシンバル1	104 ハイハットクローズ/オープン*	009 ロックバスドラム(ハード)	104 ハイハットクローズ/オープン*
106 クラッシュシンバル1♦	115 ライドシンバルカップ♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*	001 バスドラム(ハード)♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*
106 クラッシュシンバル1♦	111 ライドシンバル1♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*	001 バスドラム(ハード)♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*
106 クラッシュシンバル1♦	111 ライドシンバル1♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*	002 バスドラム♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*
108 クラッシュシンバル1	121 ハンドクラップ	104 ハイハットクローズ/オープン*	008 ロックバスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	120 スプラッシュシンバル	104 ハイハットクローズ/オープン*	007 ルームバスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*
013 ダンスバスドラム(ソフト)	109 クラッシュシンバル2	121 ハンドクラップ	015 ダンスバスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	104 ハイハットクローズ/オープン*	005 バスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	113 ライドシンバル1	104 ハイハットクローズ/オープン*	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	114 ライドシンバル2	104 ハイハットクローズ/オープン*	005 バスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	113 ライドシンバル1	104 ハイハットクローズ/オープン*	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	104 ハイハットクローズ/オープン*	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
106 クラッシュシンバル1♦	111 ライドシンバル1♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*	002 バスドラム♦	102 ハイハットクローズ/オープン♦*
108 クラッシュシンバル1	114 ライドシンバル2	104 ハイハットクローズ/オープン*	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	114 ライドシンバル2	052 ジャズサイドスティック	016 ジャズバスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	126 カウベル	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	104 ハイハットクローズ/オープン*	157 クラベス	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
120 スsplashシンバル	114 ライドシンバル2	104 ハイハットクローズ/オープン*	003 バスドラム(ソフト)	104 ハイハットクローズ/オープン*
149 アゴゴH	150 アゴゴL	177 タンポリンポンタ♦	180 スルドーミュート	181 スルドーミュート
162 ギロロング	161 ギロショート	129 コンガ Hクローズ♦	157 クラベス	153 マラカス♦
157 カウベル	114 ライドシンバル2	126 クラベス	004 バスドラム(ハード)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	120 スplashシンバル	005 バスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*
157 クラベス	125 カウベル	129 コンガ Hクローズ♦	161 ギロショート	162 ギロロング
108 クラッシュシンバル1	114 ライドシンバル2	104 ハイハットクローズ/オープン*	004 バスドラム(ハード)	104 ハイハットクローズ/オープン*
108 クラッシュシンバル1	116 ライドシンバルカップ	048 サイドスティック	005 バスドラム	104 ハイハットクローズ/オープン*

ドラムマップ

- “←”は、左隣と同じ内容であることを表します。
- 各パーカッション音の使用発音数は1です。
- 鍵盤楽器の鍵盤(Keyboard)のNote No.とNoteは、MIDIのNote No.とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、GMスタンダード1の「シーククリックH(MIDI Note No. 24/Note C0)」を鍵盤楽器の鍵盤で鳴らす場合は、Note No. 36/Note C1を押さえます。

(MSB=127, LSB=000)

Keyboard	MIDI	000	001	008	016	024	027	032	119
Note No.	Note	Note No.	Note	Note	Note	Note	Note	Note	Note
		GMスタンダード1	スタンダード2	ルーム	ロック	エレクトロニック	ダンス	ジャズ	ステレオ&ラテン
25 C# 0	C# -1	スルドーミュート	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
26 D 0	D -1	スルドーオープン	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
27 D# 0	D# -1	Hi Q	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
28 E 0	E -1	ウイップスラップ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
29 F 0	F -1	スクラッチブッシュ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
30 F# 0	F# -1	スクラッチブル	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
31 G 0	G -1	フィンガースナップ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
32 G# 0	G# -1	クリックノイズ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
33 A 0	A -1	メトロノームクリック	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
34 A# 0	A# -1	メトロノームベル	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
35 B 0	B -1	シーケンスL	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
36 C 1	C 0	シーククリック H	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
37 C# 1	C# 0	ブラッシュタップ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ブラッシュタップ
38 D 1	D 0	ブラッシュスワール	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
39 D# 1	D# 0	ブラッシュスラップ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ブラッシュスラップ
40 E 1	E 0	ブラッシュタップスワール	←←	←←	←←	リバースシンバル	←←	←←	ブラッシュタップスワール
41 F 1	F 0	スネアロール	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
42 F# 1	F# 0	カスタネット	←←	←←	←←	Hi Q ロー	←←	←←	ジャズカスタネット
43 G 1	G 0	スネアH(ソフト)	スネアH(ソフト)2	ルームスネアH(ソフト)	ロックスネアH(ソフト)	スネアL	ダンススネアスナッピー	ジャズスネアH(ソフト)	スネアH(ソフト)
44 G# 1	G# 0	スティック	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
45 A 1	A 0	バスドラム(ソフト)	←←	ロックバスマル(ソフト)	←←	ダンスバスマル(ソフト)	ジャズバスマル(ソフト)	バスドラム(ソフト)	バスドラム(ソフト)
46 A# 1	A# 0	オーブリミショット	オーブリミショット2	ルームオーブリミショット	←←	ダンスオーブリミショット	ジャズオーブリミショット	オーブリミショット	オーブリミショット
47 B 1	B 0	バスドラム(ハード)	←←	ロックバスマル(ハード)	Elec.バスドラム(ハード)	ダンスバスマル(ハード)	ジャズバスマル(ハード)	バスドラム(ハード)	バスドラム(ハード)
48 C 2	C 1	バスドラム	バスドラム2	ルームバスドラム	ロックバスドラム	Elec.バスドラム	ダンスバスドラム	ジャズバスドラム	バスドラム
49 C# 2	C# 1	サイドスティック	サイドスティック2	ルームサイドスティック	←←	ダンスサイドスティック	ジャズサイドスティック	サイドスティック	サイドスティック
50 D 2	D 1	スネアM	スネアM 2	ルームスネアM	ロックスネアM	Elec.スネアM	ダンススネアM	ジャズスネアM	スネアM
51 D# 2	D# 1	ハンドクラップ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
52 E 2	E 0	スネアH(ハード)	スネアH(ハード)2	ルームスネアH(ハード)	ロックスネアH(ハード)	スネアH(ハード)	ダンススネアH(ハード)	ジャズスネアH(ハード)	スネアH(ハード)
53 F 2	F 1	フロアアームL	←←	ルームフロアアームL	ロックフロアアームL	Elec.フロアアームL	ダンスフロアアームL	ジャズフロアアームL	フロアアームL
54 F# 2	F# 1	ハイハットクローズ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ハイハットクローズ
55 G 2	G 0	フロアアームH	←←	ルームフロアアームH	ロックフロアアームH	Elec.フロアアームH	ダンスフロアアームH	ジャズフロアアームH	フロアアームH
56 G# 2	G# 0	ハイハットペダル	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ハイハットペダル
57 A 2	A 0	ロータム	←←	ルームロータム	ロックロータム	Elec.ロータム	ダンスロータム	ジャズロータム	ロータムL
58 A# 2	A# 0	ハイハットオープン	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ハイハットオープン
59 B 2	B 0	ミッドタムL	←←	ルームミッドタムL	ロックミッドタムL	Elec.ミッドタムL	ダンスマッドタムL	ジャズミッドタムL	ミッドタムL
60 C 3	C 0	ミッドタムH	←←	ルームミッドタムH	ロックミッドタムH	Elec.ミッドタムH	ダンスマッドタムH	ジャズミッドタムH	ミッドタムH
61 C# 3	C# 0	クラッシュシンバル1	←←	←←	←←	←←	ダンスシンバル	クラッシュシンバル1	クラッシュシンバル1
62 D 3	D 0	ハイタム	←←	ルームハイタム	ロックハイタム	Elec.ハイタム	ダンスハイタム	ジャズハイタム	ハイタム
63 D# 3	D# 0	ライドシンバル1	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ライドシンバル1
64 E 3	E 0	チャイニーズシンバル	←←	←←	←←	←←	←←	←←	チャイニーズシンバル
65 F 3	F 0	ライドシンバルカッピング	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ライドシンバルカッピング
66 F# 3	F# 0	タンボリン	←←	←←	←←	←←	←←	←←	タンボリン
67 G 3	G 0	スプラッシュシンバル	←←	←←	←←	←←	←←	←←	スプラッシュシンバル
68 G# 3	G# 0	カウベル	←←	←←	←←	←←	ダンスカウベル	ジャズカウベル	カウベル
69 A 3	A 0	クラッシュシンバル2	←←	←←	←←	←←	←←	←←	クラッシュシンバル2
70 A# 3	A# 0	ビブラスラップ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
71 B 3	B 0	ライドシンバル2	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ライドシンバル2
72 C 4	C 0	ポンゴH	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ポンゴH
73 C# 4	C# 0	ポンゴL	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ポンゴL
74 D 4	D 0	コンガHクローズ	←←	←←	←←	←←	ダンスコンガHミュート	ジャズコンガHクローズ	コンガHクローズ
75 D# 4	D# 0	コンガHオープン	←←	←←	←←	←←	ダンスコンガHオープン	ジャズコンガHオープン	コンガHオープン
76 E 4	E 0	コンガL	←←	←←	←←	←←	ダンスコンガL	ジャズコンガL	コンガL
77 F 4	F 0	ティンパレスH	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ティンパレスH
78 F# 4	F# 0	ティンパレスL	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ティンパレスL
79 G 4	G 0	アゴH	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
80 G# 4	G# 0	アゴL	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
81 A 4	A 0	カバサ	←←	←←	←←	←←	←←	←←	カバサ
82 A# 4	A# 0	マラカス	←←	←←	←←	←←	←←	←←	マラカス
83 B 4	B 0	サンバホイッスルH	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
84 C 5	C 0	サンバホイッスルL	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
85 C# 5	C# 0	ギロショート	←←	←←	←←	←←	←←	←←	ギロショート
86 D 5	D 0	ギロロング	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
87 D# 5	D# 0	クラベス	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
88 E 5	E 0	ウッドブロッカH	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
89 F 5	F 0	ウッドブロッカL	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
90 F# 5	F# 0	クィーカミュート	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
91 G 5	G 0	クィーカオーブン	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
92 G# 5	G# 0	トライアングルミュート	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
93 A 5	A 0	トライアングルオーブン	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
94 A# 5	A# 0	シェイカー	←←	←←	←←	←←	←←	←←	シェイカー
95 B 5	B 0	ジングルベル	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
96 C 6	C 0	ベルツリー	←←	←←	←←	←←	←←	←←	←←
97 C# 6	C# 0								パンデイロケト
98 D 6	D 0								パンデイロソルト
99 D# 6	D# 0								パンデイロポンタ
100 E 6	E 0								パンデイロカムハーバー
101 F 6	F 0								タンボリンソルト
102 F# 6	F# 0								タンボリンポンタ
103 G 6	G 0								タンボリンナイロン
104 G# 6	G# 0								コンガマフル

Keyboard	MIDI	120	121	122	123	124	125	126	127
Note No.	Note	Note No.	Note	Note No.	Note	Note No.	Note	Note No.	Note
25	C# 0	13	C# -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
26	D 0	14	D -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
27	D# 0	15	D# -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
28	E 0	16	E -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
29	F 0	17	F -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
30	F# 0	18	F# -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
31	G 0	19	G -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
32	G# 0	20	G# -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
33	A 0	21	A -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
34	A# 0	22	A# -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
35	B 0	23	B -1	<---	<---	<---	<---	<---	<---
36	C 1	24	C 0	<---	<---	<---	<---	<---	<---
37	C# 1	25	C# 0	プラッシュタップ	<---	<---	<---	<---	プラッシュタップ
38	D 1	26	D 0	(プラッシュスワール)	<---	<---	<---	<---	<---
39	D# 1	27	D# 0	プラッシュスラップ	<---	<---	<---	プラッシュスラップ	プラッシュスラップ
40	E 1	28	E 0	(プラッシュタップスワール)	<---	<---	(リバースシンバル)	<---	(リバースシンバル)
41	F 1	29	F 0	(スネアロール)	<---	<---	<---	<---	<---
42	F# 1	30	F# 0	<---	<---	<---	Hi Q ロー	<---	ジャズカスタネット
43	G 1	31	G 0	スネアH(ソフト)	スネアH(ソフト) 2	ルームスネアH(ソフト)	ロックスネアH(ソフト)	スネアL	ダンススネアスナッピー
44	G# 1	32	G# 0	<---	<---	<---	<---	<---	ジャズスネアH(ソフト)
45	A 1	33	A 0	パッドラム(ソフト)	<---	<---	ロックパッドラム(ソフト)	<---	ダンスパッドラム(ソフト)
46	A# 1	34	A# 0	オープニングショット	オープニングショット2	ルームオープニングショット2	<---	<---	ジャズオープニングショット
47	B 1	35	B 0	パッドラム(ハード)	<---	<---	ロックパッドラム(ハード)	Elec. パッドラム(ハード)	ダンスパッドラム(ハード)
48	C 2	36	C 1	パッドラム	パッドラム 2	ルームパッドラム	ロックパッドラム	Elec. パッドラム	ダンスパッドラム
49	C# 2	37	C# 1	サイドスティック	サイドスティック 2	ルームサイドスティック	<---	<---	ジャズサイドスティック
50	D 2	38	D 1	スネアM	スネア M2	ルームスネア M	ロックスネア M	Elec. スネア M	ダンススネア M
51	D# 2	39	D# 1	<---	<---	<---	<---	<---	ジャズスネア M
52	E 2	40	E 1	スネアH(ハード)	スネアH(ハード) 2	ルームスネアH(ハード)	ロックスネアH(ハード)	Elec. スネア H	ダンススネアH(ハード)
53	F 2	41	F 1	フロアアームL	<---	ルームフロアアームL	ロックフロアアームL	Elec. フロアアームL	ダンスフロアアームL
54	F# 2	42	F# 1	ハイハットクローズ	<---	<---	<---	<---	ダンスハイハットクローズ
55	G 2	43	G 1	フロアアームH	<---	ルームフロアアームH	ロックフロアアームH	Elec. フロアアームH	ダンスフロアアームH
56	G# 2	44	G# 1	ハイハットペダル	<---	<---	<---	<---	ダンスハイハットペダル
57	A 2	45	A 1	ロータム	<---	ルームロータム	ロックロータム	Elec. ロータム	ダンスロータム
58	A# 2	46	A# 1	ハイハットオープン	<---	<---	<---	<---	ダンスハイハットオープン
59	B 2	47	B 1	ミッドタムL	<---	ルームミッドタムL	ロックミッドタムL	Elec. ミッドタムL	ダンスマッドタムL
60	C 3	48	C 2	ミッドタムH	<---	ルームミッドタムH	ロックミッドタムH	Elec. ミッドタムH	ダンスマッドタムH
61	C# 3	49	C# 2	クラッシュシンバル1	<---	<---	<---	<---	ダンスシンバル
62	D 3	50	D 2	ハイタム	<---	ルームハイタム	ロックハイタム	Elec. ハイタム	ダンスハイタム
63	D# 3	51	D# 2	ライドシンバル1	<---	<---	<---	<---	ライドシンバル1
64	E 3	52	E 2	チャイニーズシンバル	<---	<---	<---	<---	チャイニーズシンバル
65	F 3	53	F 2	ライドシンバルカッブ	<---	<---	<---	<---	ライドシンバルカッブ
66	F# 3	54	F# 2	タンポリン	<---	<---	<---	<---	タンポリン
67	G 3	55	G 2	スラッシュシンバル	<---	<---	<---	<---	スラッシュシンバル
68	G# 3	56	G# 2	カウベル	<---	<---	<---	<---	ジャズカウベル
69	A 3	57	A 2	クラッシュシンバル2	<---	<---	<---	<---	クラッシュシンバル2
70	A# 3	58	A# 2	<---	<---	<---	<---	<---	<---
71	B 3	59	B 2	ライドシンバル2	<---	<---	<---	<---	ライドシンバル2
72	C 4	60	C 3	ボンゴH	<---	<---	<---	<---	ボンゴH
73	C# 4	61	C# 3	ボンゴL	<---	<---	<---	<---	ボンゴL
74	D 4	62	D 3	コンガHクローズ	<---	<---	<---	<---	ダンスコンガHミューート
75	D# 4	63	D# 3	コンガHオープン	<---	<---	<---	<---	ダンスコンガHオープン
76	E 4	64	E 3	コンガL	<---	<---	<---	<---	ダンスコンガL
77	F 4	65	F 3	ティンパレスH	<---	<---	<---	<---	ティンパレスH
78	F# 4	66	F# 3	ティンパレスL	<---	<---	<---	<---	ティンパレスL
79	G 4	67	G 3	アゴH	<---	<---	<---	<---	<---
80	G# 4	68	G# 3	アゴL	<---	<---	<---	<---	<---
81	A 4	69	A 3	カバサ	<---	<---	<---	<---	カバサ
82	A# 4	70	A# 3	マラカス	<---	<---	<---	<---	マラカス
83	B 4	71	B 3	(サンバホイッシュル)	<---	<---	<---	<---	<---
84	C 5	72	C 4	(サンバホイッシュル)	<---	<---	<---	<---	<---
85	C# 5	73	C# 4	ギロショート	<---	<---	<---	<---	ギロショート
86	D 5	74	D 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
87	D# 5	75	D# 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
88	E 5	76	E 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
89	F 5	77	F 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
90	F# 5	78	F# 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
91	G 5	79	G 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
92	G# 5	80	G# 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
93	A 5	81	A 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
94	A# 5	82	A# 4	シェイカー	<---	<---	<---	<---	シェイカー
95	B 5	83	B 4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
96	C 6	84	C 5	<---	<---	<---	<---	<---	<---
97	C# 6	85	C# 5	<---	<---	<---	<---	<---	<---
98	D 6	86	D 5	<---	<---	<---	<---	<---	パンディロケト
99	D# 6	87	D# 5	<---	<---	<---	<---	<---	パンディロソルト
100	E 6	88	E 5	<---	<---	<---	<---	<---	パンディロポンタ
101	F 6	89	F 5	<---	<---	<---	<---	<---	タンポリンソルト
102	F# 6	90	F# 5	<---	<---	<---	<---	<---	タンポリンポンタ
103	G 6	91	G 5	<---	<---	<---	<---	<---	タンポリンナリオン
104	G# 6	92	G# 5	<---	<---	<---	<---	<---	コンガマフル

GM音色リスト

(MSB=000, LSB=000)

プログラム チェンジ ナンバー	音色名
000	グランドピアノ
001	ライトピアノ
002	エレクトリックグランド ピアノ
003	ホンキートンクピアノ
004	エレクトリックピアノ1
005	エレクトリックピアノ2
006	ハーブシコード
007	クラビ
008	チェレスタ
009	グロッケンシュピール
010	ミュージックボックス
011	ビブラフォン
012	マリンバ
013	シロフォン
014	チューブラーベル
015	ダルシマー
016	ドローバーオルガン
017	パークッシュオルガン
018	ロックオルガン
019	チャーチオルガン
020	リードオルガン
021	アコーディオン
022	ハーモニカ
023	タンゴアコーディオン
024	ガットギター
025	フォークギター
026	ジャズギター
027	クリーンギター
028	ミュートギター
029	オーバードライブギター
030	ディストーションギター
031	ギターハーモニクス
032	アコースティックベース
033	フィンガーベース
034	ピックベース
035	フレットレスベース
036	スラップベース1
037	スラップベース2
038	シンセベース1
039	シンセベース2
040	バイオリン
041	ビオラ
042	チェロ
043	コントラバス
044	トレモロストリングス
045	ピチカートストリングス
046	ハープ

プログラム チェンジ ナンバー	音色名
047	ティンパニ
048	ストリングスアンサンブル1
049	ストリングスアンサンブル2
050	シンセストリングス1
051	シンセストリングス2
052	クワイアアー
053	ボイス ウー
054	シンセボイス
055	オーケストラヒット
056	トランペット
057	トロンボーン
058	チューバ
059	ミュートトランペット
060	フレンチホルン
061	プラスセクション
062	シンセプラス1
063	シンセプラス2
064	ソプラノサックス
065	アルトサックス
066	テナーサックス
067	バリトンサックス
068	オーボエ
069	イングリッシュホルン
070	バスーン
071	クラリネット
072	ピッコロ
073	フルート
074	リコーダー
075	パンフルート
076	ボトル
077	尺八
078	ホイッスル
079	オカリナ
080	矩形波リード
081	ノコギリ波リード
082	カリオペリード
083	チフリード
084	チャランリード
085	ボイスリード
086	5度リード
087	ベース&リード
088	ニューエイジパッド
089	ウォームパッド
090	ボリシンセパッド
091	クワイアパッド
092	ボウドパッド
093	メタリックパッド
094	ヘイロパッド

プログラム チェンジ ナンバー	音色名
095	スイープパッド
096	雨
097	サウンドトラック
098	クリスタル
099	アトモスフィア
100	ライトネス
101	ゴブリン
102	エコー
103	サイエンスフィクション
104	シタール
105	パンジョー
106	三味線
107	琴
108	カリンバ
109	バグパイプ
110	フィドル
111	シャナイ
112	ティングルベル
113	アゴゴ
114	スチールドラム
115	ウッドブロック
116	和太鼓
117	メロディックタム
118	シンセドラム
119	リバースシンバル
120	フレットノイズ
121	プレスノイズ
122	海辺
123	鳥のさえずり
124	電話のベル
125	ヘリコプター
126	拍手
127	銃声

YAMAHA [DIGITAL PERCUSSION]
Model DD-55 MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 07-FEB-2001
Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベースック チャンネル	電源ON時 設定可能	10 - 16チャンネル 1 - 16チャンネル	1 - 16チャンネル 1 - 16チャンネル
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 x *****	3 x x
ノートナンバー	音域	0 - 127 *****	13 - 96 13 - 96
ペロシティ	ノートオン ノートオフ	9nH, v=1 - 127 9nH, v=0	9nH, v=1 - 127 9nH, v=0
アフターツッヂ	キー別 チャンネル別	x x	x x
ピッチベンダー		*3	
コントロールチェンジ	0, 32 1 6, 38 7 10 11 64 71 72 73 84 91 93 94 96, 97 100, 101	*3 *3 *1 *3 *3 *3 *3 *3 *3 *3 *3 *3 *3 *3 *3 *3	パンクセレクト モジュレーションデプス データエントリー ボリューム パン エクスプレッションペダル サステイン ハーモニックコンテンツ リリースタイム ライトネス ポルタメントコントロール リバーブデプス コーラスデプス バリエーションデプス データインクリメント, デクリメント RPN LSB, MSB
プログラムチェンジ	設定可能	*****	0 - 127
エクスクルーシブ		*4	*4
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	x x x	x x x
リアルタイム	クロック コマンド		*2
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	x x x x x	(120) (121) x x x

モード1 : オムニ・オン、ボリ
モード3 : オムニ・オフ、ボリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

:あり
x :なし

メモ:

*1 パッドのパン情報は、送信されない

*2 クロック「I」(インターナル)設定時は、受信しない

*3 ソングに含まれる場合のみ送信される

*4 エクスクルーシブ

<GMシステムオン>

F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H

・MIDIマスター・チューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。

<MIDIマスター・ボリューム>

F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, II, mm, F7H

・全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサル・システム・エクスクルーシブ)

・mmの値をMIDIマスター・ボリューム値として用います。(IIは無視)

<リバーブタイプ>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, IIH, mmH, F7H

・II:リバーブタイプMSB

・mm:リバーブタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(45ページ)を参照してください。

<コーラスタイル>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, IIH, mmH, F7H

・II:コーラスタイルMSB

・mm:コーラスタイルLSB

詳細はエフェクトマップ(45ページ)を参照してください。

<DSPタイプ>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 40H, IIH, mmH, F7H

・II:DSPタイプMSB

・mm:DSPタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(45ページ)を参照してください。

<ドライレベル>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 08H, 0mH, 11H, IIH, F7H

・II:ドライレベル

・0m:チャンネルナンバー

*5 外部のシーケンサーなどに録音してDD-55で再生する場合、録音時と違うリバーブがかかるたり別のキットが選ばれる場合があります。

DD-55からMIDI送信して外部音源を鳴らしているとき、もしDD-55と同じ音色がない場合は違う音色で鳴ります。



■ エフェクトマップ

- * TYPE LSBに、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、 LSB=0 のタイプとなります。
- * 外部機器からの MIDI エクスクルーシブデータを DD-55 に送信すれば、 DD-55 のパネル操作では設定できないリバーブ/コーラス/DSP タイプを設定することができます。

● リバーブ

TYPE MSB	TYPE LSB								
	00	01	02	08	16	17	18	19	20
000	No Effect								
001	(1)Hall1					(2)Hall2			
002	Room					(3)Room1		(4)Room2	
003	Stage				(5)Stage1	(6)Stage2			
004	Plate				(7)Plate1	(8)Plate2			
005...127	No Effect								

● コーラス

TYPE MSB	TYPE LSB								
	00	01	02	08	16	17	18	19	20
000...064	No Effect								
065	Chorus		Chorus2						
066	Celeste					Chorus1			
067	Flanger			Flanger1		Flanger2			
068...127	No Effect								

● DSP

TYPE MSB	TYPE LSB								
	00	01	02	08	16	17	18	19	20
000	No Effect								
001	(1)Hall1					(2)Hall2			
002	Room					(3)Room1		(4)Room2	
003	Stage				(5)Stage1	(6)Stage2			
004	Plate				(7)Plate1	(8)Plate2			
005	Delay L,C,R				(26)Delay L,C,R				
006	(27)Delay L,R								
007	(28)Echo								
008	(29)Cross Delay								
009	(9)Early Reflection1	(10)Early Reflection2							
010	(11)Gate Reverb								
011	(12)Reverse Gate								
012...019	No Effect								
020	(30)Karaoke								
021...064	No Effect								
065	Chorus	(14)Chorus2							
066	Celeste					(13)Chorus1			
067	Flanger		(15)Flanger1			(16)Flanger2			
068	Symphonic				(17)Symphonic				
069	Rotary Speaker				(19)Rotary Speaker1				
070	Tremolo				(21)Tremolo1				
071	Auto Pan				(24)Auto Pan		(20)Rotary Speaker2	(22)Tremolo2	(23)Guitar Tremolo
072	(18)Phaser								
073	Distortion								
074	(33)Overdrive								
075	(34)Amp Simulation				(31)Distortion Hard	(32)Distortion Soft			
076	(36)3Band EQ					(35)EQ Telephone			
077	(37)2Band EQ								
078	Auto Wah				(25)Auto Wah				
079...127	No Effect								

仕様

ドラムパッド：
7(125mm × 4、88mm × 3)タッチセンス付

最大同時発音数：
32

ドラムキット：
45プリセット+1カスタム

ソング：
100

トラック：
4(DRUM 1/DRUM 2/DRUM 3/BACKING)

カスタムソング：
1曲(約20,000音)

音色：
ドラム音色192+GM音色128+ドラムキット8

機能：
トラックオン/オフ、タップスタート、ブレイク、A-Bリピート、デモ

パネルコントロール：
[STANDBY/ON]スイッチ、[PAD]ボタン、[KIT]ボタン、[SONG]ボタン、[TEMPO]ボタン、VOLUME [] []ボタン、[HAND PERC]ボタン、トラック(DRUM 1/DRUM 2/DRUM 3/BACKING)ボタン、[DEMO]ボタン、[CLICK]ボタン、[START/STOP]ボタン、[A-B REPEAT]ボタン、[BREAK/TAP]ボタン、[REC]ボタン、ダイアル

LED表示：
ソング/ドラムキット/テンポなど

接続端子：
DC IN 12V端子、PHONES/OUTPUT端子、MIDI IN/MIDI OUT端子、PEDAL 1/2端子

アンプ最大出力：
5W + 5W(EIAJ)

スピーカー：
8cm × 2

消費電力：
22W(電源アダプター PA-5C使用時)

電源：
・アダプター：PA-5C, PA-5D
・電池：単2乾電池(1.5V × 6)

電池寿命：
アルカリ電池で約4.5時間(デモ演奏連続使用：マスターボリュームはL6)

寸法(幅 × 奥 × 高)：
558 × 355 × 174mm

質量：
3.9kg

付属品：
ドラムスティック × 2、ペダル1, 2、取扱説明書、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスステーション	〒 064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒 984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒 143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒 435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒 565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒 760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒 435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-1158

◆ ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL 053-460-5272

● 受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

● 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

<http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

国内楽器営業本部

EM営業統括部企画推進室 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5476

PA・DMI事業部

EKB営業部 CL・PK営業課 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL (053) 460-3275

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

◆ インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・電子ピアノ/キーボードのホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」
　　ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com/>
　　よくあるご質問(Q&A/FAQ) <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

ヤマハ株式会社